

FMV-DESKPOWER
M/457, M/407, M/405

**インターネット
無料体験付き**

取扱説明書

接続と準備

電源を入れる前に、
このマニュアルをお読みください。



設置例

- STEP!
1 接続する
- STEP!
2 初めて電源を入れる
~Windows98のセットアップ~
- STEP!
3 電源の切りかたと
入れかたを覚える
- STEP!
4 インターネット
無料体験を試してみる
- STEP!
5 パソコンの
基本操作を覚える

はじめに

このたびは、FMV-DESKPOWERをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。このマニュアルは、本パソコンをお使いいただく前に必要な、接続と準備について説明しています。本書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

1999年5月

安全にお使いいただくために

- ・添付の冊子『安全上のご注意』には、本パソコンを安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本パソコンをお使いになる前に、『安全上のご注意』をお読みください。また、マニュアル類は、本パソコンのご使用中にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。弊社は、お客さまの生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全にお使いいただくために、細心の注意を払っています。本パソコンをお使いになる際は、マニュアルの説明に従ってください。
- ・本パソコンには、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルは、絶対にはがさないでください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される際には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください(詳しくは、保証書をご覧ください)。
- ・修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複製して、保管しておいてください。
- ・本パソコンの保守部品の供給期間は、製造終了後6年間とさせていただきます。

使用許諾契約書

このたびは、弊社製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。弊社では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの特定ソフトウェアに関する「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 1 本ソフトウェアの使用および著作権**

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において同時に1台のコンピュータでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- 2 バックアップ**

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1式の予備用(バックアップ)媒体を作成することができます。
- 3 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み**

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 4 複製**

(1)本ソフトウェアの複製は、上記「2」および「3」の場合に限定されるものとします。本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用(バックアップ)媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

(2)前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
- 5 第三者への譲渡**

お客様が本ソフトウェアを第三者へ譲渡する場合には、お客様が保有する本ソフトウェアの複製物のすべてを破棄するか、本ソフトウェアとともに第三者に譲渡してください。
- 6 改造等**

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 7 壁紙の使用条件**

お客様は、「FMV-DESKPOWER」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
- 8 アフターサービス(保証の範囲)**

(1)弊社は、お客様がユーザー登録を行っていただいた場合、本パソコンをご購入いただいた日から1年間、本ソフトウェアの改訂版(レベルアップ版等)に関する情報等をお知らせいたします。

(2)弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥(破損等)がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から90日以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(3)弊社は、前各号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害(逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします)に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

(4)本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は弊社が行う上記(1)および(2)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。




富士通株式会社

本書の表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



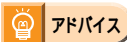


また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

	で示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。 記号の中には、具体的な警告内容(左の例の場合は指の挟み込み注意)が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な禁止内容(左の例の場合は一般的な禁止)が示されています。
	で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な指示内容(左の例の場合は一般的な強制事項)が示されています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、本書に表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に困ったときの対処法などを記述しています。必要に応じてお読みください。
 アドバイス	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。

製品の呼びかたについて

本書では製品名称を、次のように略して表記しています。

- ・ Microsoft® Windows® 98 operating systemを、Windows98と表記しています。
- ・ 一太郎9・花子9 パックを、一太郎と表記しています。
- ・ FMV-DESKPOWER M/457,M/407,M/405を、本パソコンと表記しています。

添付のCD-ROMとフロッピーディスクは大切に保管してください

これらのディスクは、本パソコンに入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

注意 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
この装置は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



瞬時電圧低下について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本パソコンは、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本パソコンには、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本パソコンを輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright ©富士通株式会社 1999

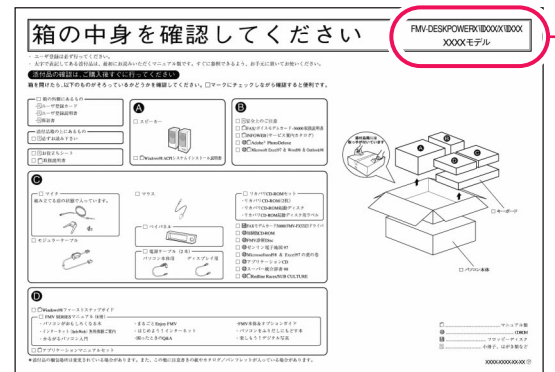
画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

作業を始める前に

ここでは、作業を始める前に、ご用意いただきたいものを説明します。

添付品を確認してください

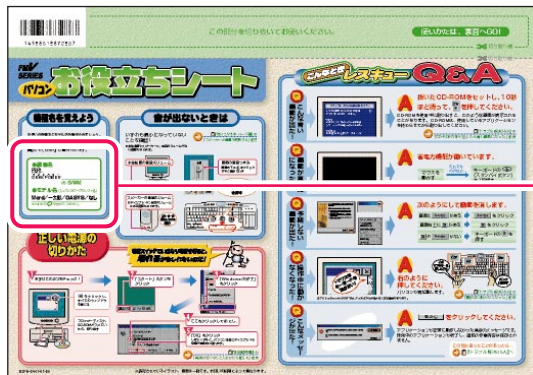
『箱の中身を確認してください』をご覧になり、添付品が揃っているか確認してください。



(機種により若干異なります)

機種名を確認してください

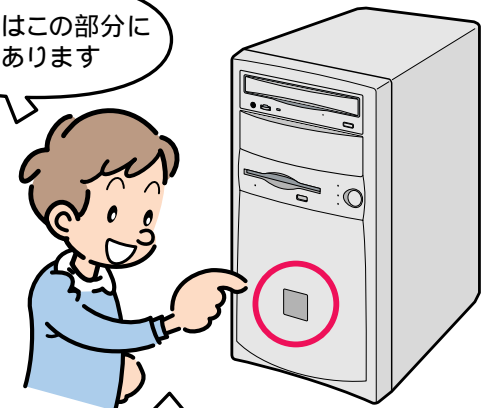
お使いの機種によってマニュアルの読みかたが異なります。作業を始める前に、お使いのパソコンの機種名と、ワープロソフト名(Word/一太郎)を確認してください。



『お役立ちシート』

ここに機種名とワープロソフト名を記入してください。

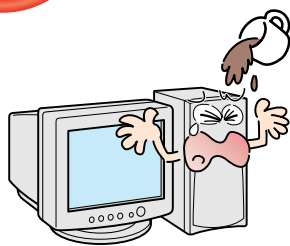
機種名はこの部分に書いてあります



ワープロソフト名は、『箱の中身を確認してください』をご覧ください。

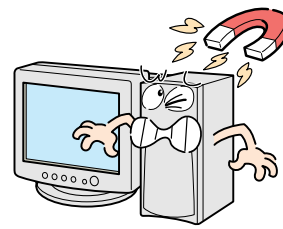
お使いになる前に

これだけは注意!



水分は大敵!

湿度の高い場所でパソコンを使うと誤動作の原因に…。また、濡れた手でパソコンにさわったり、うっかりジュースをキーボードにかけたりすると、ショートするおそれがあります。

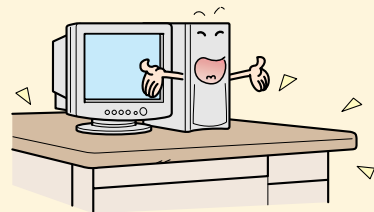


磁気のあるものには近づけない!

パソコンは磁気を使ってデータを保存します(ビデオやカセットテープと同じです)。大切なデータを守るために、磁気プレストをしてパソコンを使ったり、パソコンに磁石を付けたりしないでください。

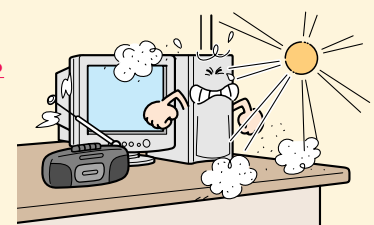
本パソコンは、次のような場所でお使いください。

- ・机の上など、平らで安定した場所に置いてください。
- ・パソコンの内部に熱がこもったり、ほこりがたまるのを防ぐため、本体と壁の間に10cm以上のすき間をあけてください。
- ・キーボードやマウスを操作するのに十分なスペースをとっておいてください。
- ・タコ足配線を避けて、コンセントから直接電源をとれるように設置してください。タコ足配線をすると、パソコンの電源が入らないことがあります。
- ・インターネットやパソコン通信をするときは、電話回線の近くに設置してください。
- ・パソコン本体を横置きにして使用しないでください。故障などの原因となります。



次のような場所では、お使いにならないでください。誤動作や故障の原因となります。

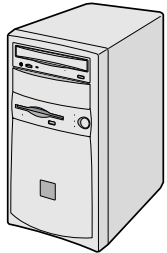
- ・極端に高温(35以上)または低温(10以下)になる場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・ほこりの多い場所
- ・テレビやラジオなど、電磁波の影響を受けやすいものの近く(テレビやラジオなどの受信が乱れたりすることがあります)
- ・水など液体のかかる場所/湿度の高い場所
- ・モーター、スピーカーなど、磁気を発生するものの近く(本パソコンに添付されているスピーカーは問題ありません)



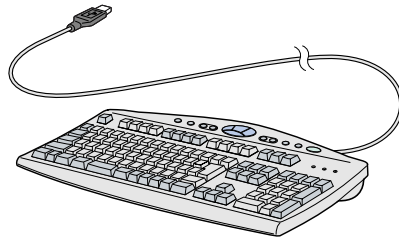
必要なものをそろえる

パソコンの接続に必要なもの

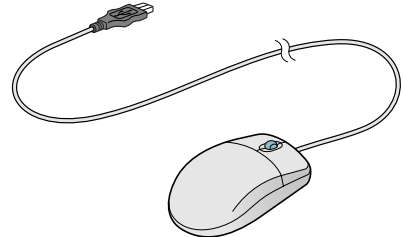
パソコン本体の箱に入っています



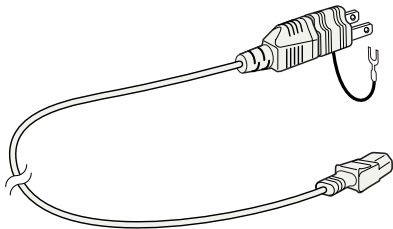
パソコン本体



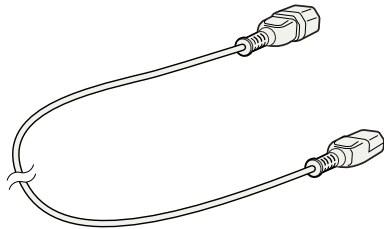
キーボード



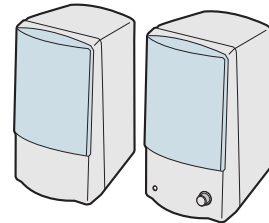
マウス



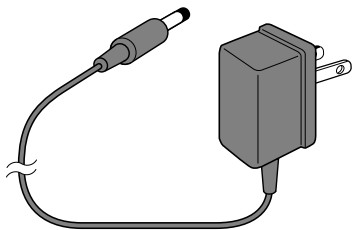
パソコン本体用電源ケーブル



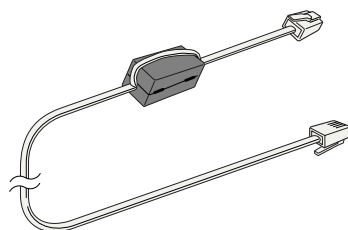
ディスプレイ用電源ケーブル



スピーカー



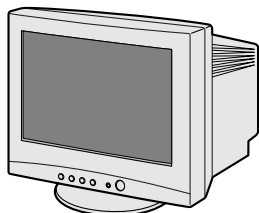
スピーカー用ACアダプタ



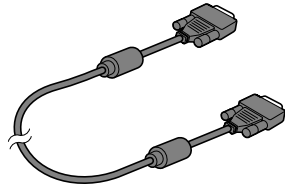
モジュラーケーブル(電話線)

ディスプレイの箱に入っています

M/457
M/407

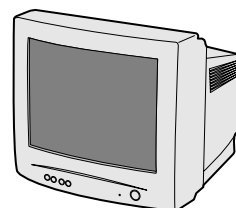


ディスプレイ

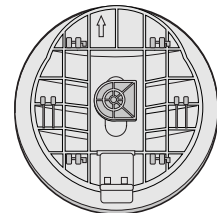


ディスプレイケーブル

M/405



ディスプレイ



チルト台(台座)

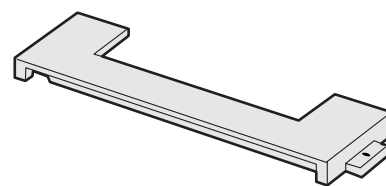
接続後の作業に必要なもの



ウィンドウズ Windows 98の『ファーストステップガイド』

接続には必要ないもの

拡張用の部品です。パソコンの接続には使いません。



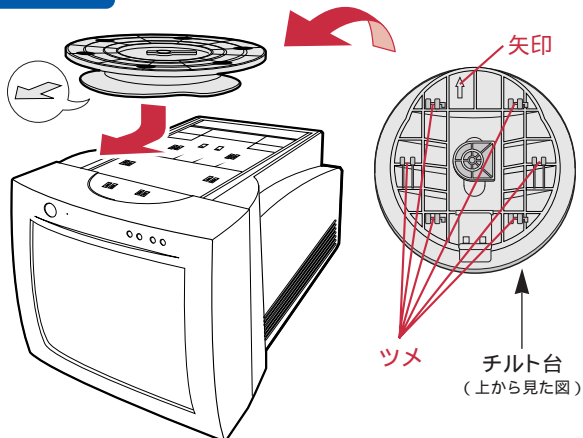
ファイルスロットパネル

接続する

ケーブル類は、差し込み口の形状をよく確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

ディスプレイにチルト台(台座)を取り付けます。

M/405のみ ディスプレイを上下さかさまにします。



矢印の向いているほうを前にして、チルト台のツメをディスプレイ底面の穴に合わせて差し込みます。カチッと音がするまでスライドさせ、チルト台をしっかりと固定します。

注意

⚠️ ディスプレイ以外の機器(指定外の機器)を、パソコン本体に接続して電源を取らないでください。火災・故障の原因となることがあります。

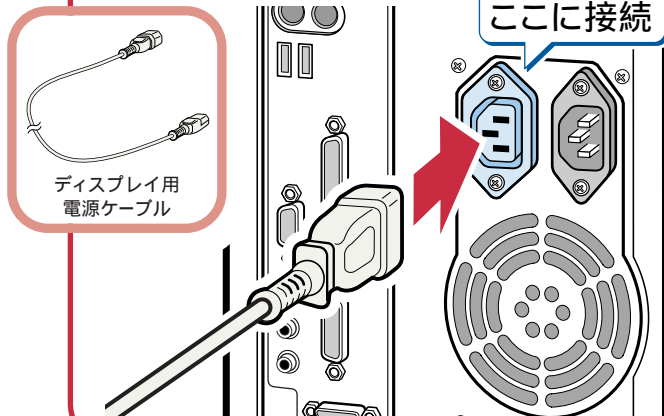
⚠️ ケーブルは正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。

背面から見た図です。
イラストはM/457です。

ディスプレイ用電源ケーブルを、パソコン本体とディスプレイに接続します。

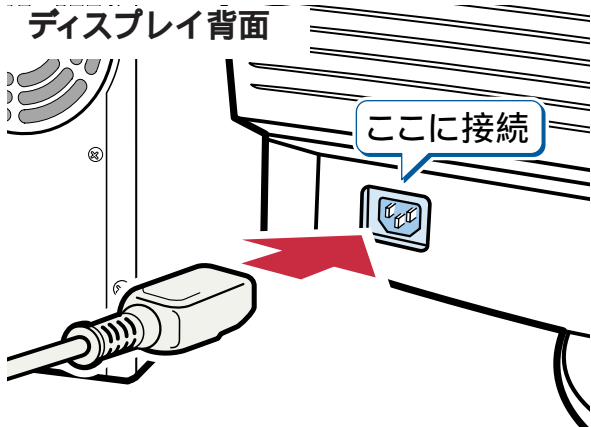
パソコン本体背面

ここに接続

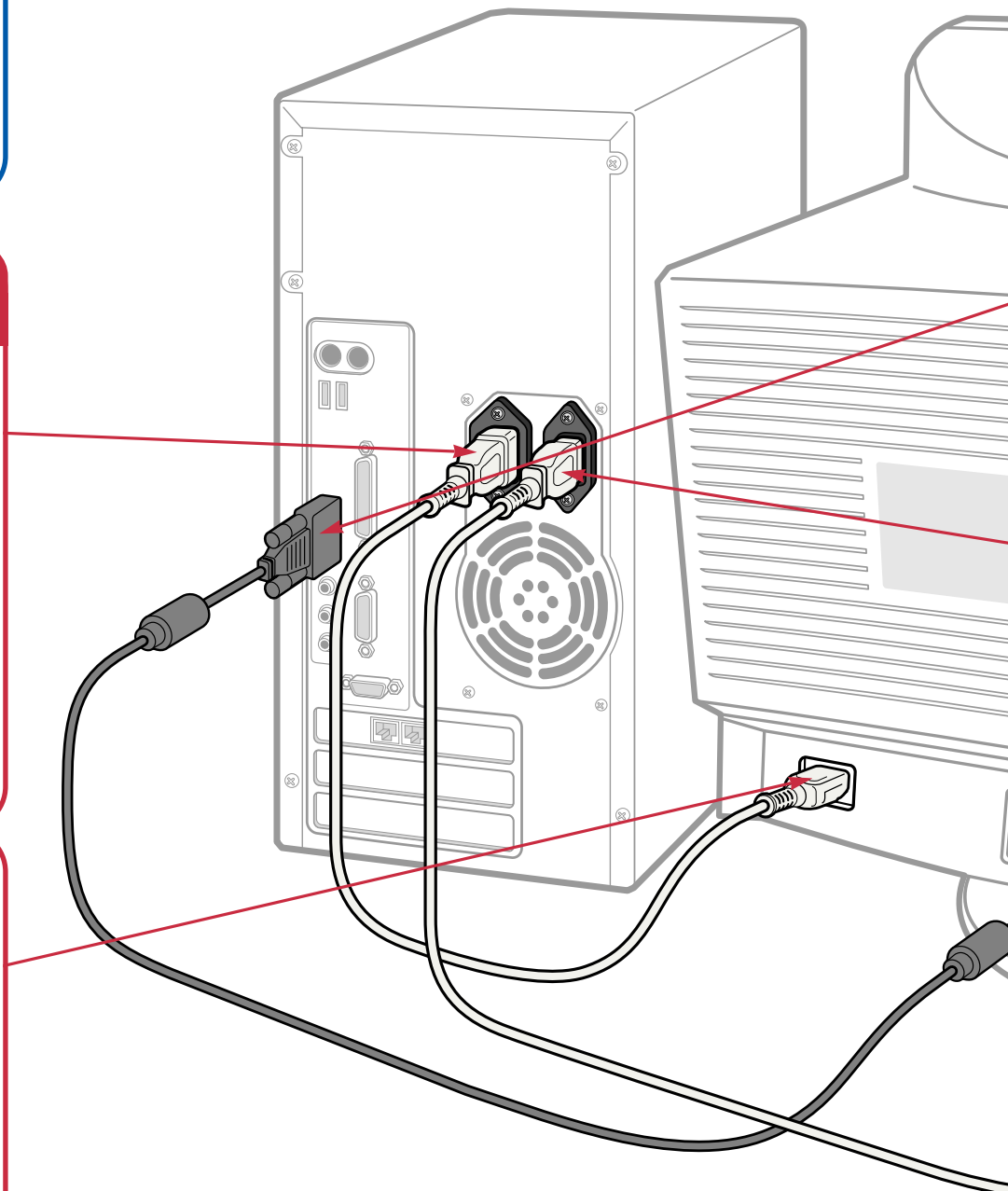


ディスプレイ背面

ここに接続



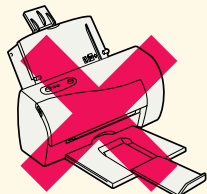
このケーブルを接続することで、ディスプレイとパソコン本体の電源を連動させることができます。



重要

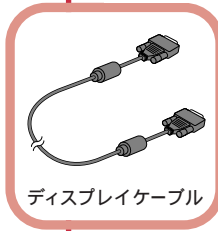
プリンタなどは接続しないでください

プリンタやメモリなど、本パソコンに添付されていない機器は、ここでは接続しないでください。本書の作業がすべて終わったあとで、あらためて接続してください。

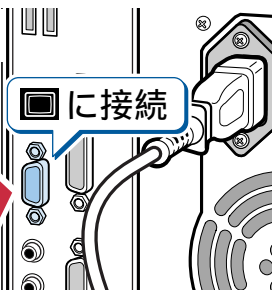


ディスプレイケーブルをパソコン本体とディスプレイに接続します。

パソコン本体背面



ディスプレイケーブル



ここに接続

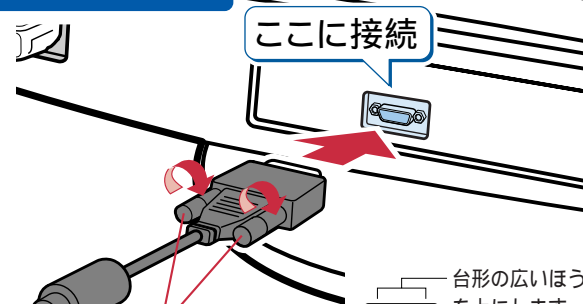
台形の広いほうを右にします。
(正面から見た図)

接続したあとにネジをしめます。

ケーブルの先にカバーが付いている場合は、カバーを取り外してから接続してください。

M/405はディスプレイ背面から直接ケーブルが出ています。

ディスプレイ背面

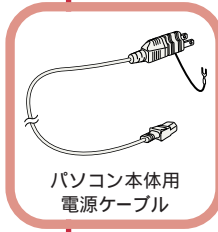


ここに接続

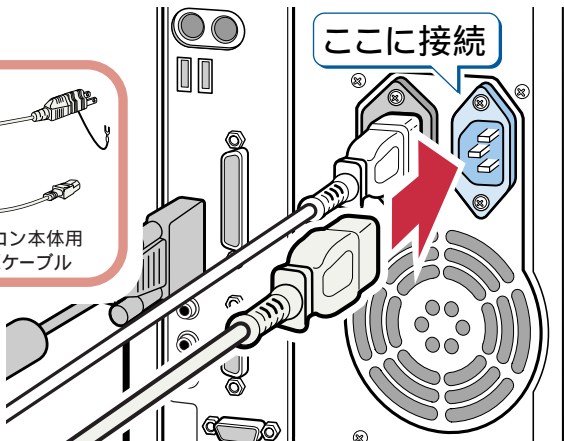
台形の広いほうを上 to します。
(正面から見た図)

接続したあとにネジをしめます。

パソコン本体用電源ケーブルを、パソコン本体に接続します。



パソコン本体用電源ケーブル

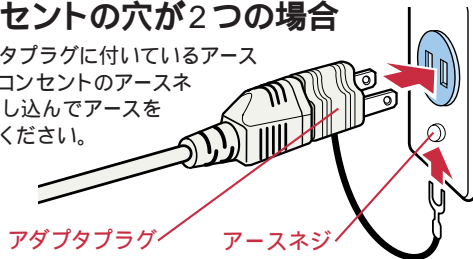


ここに接続

パソコン本体用電源ケーブルを、コンセントに接続します。

コンセントの穴が2つの場合

アダプタプラグに付いているアース線を、コンセントのアースネジに差し込んでアースをとってください。



アダプタプラグ アースネジ

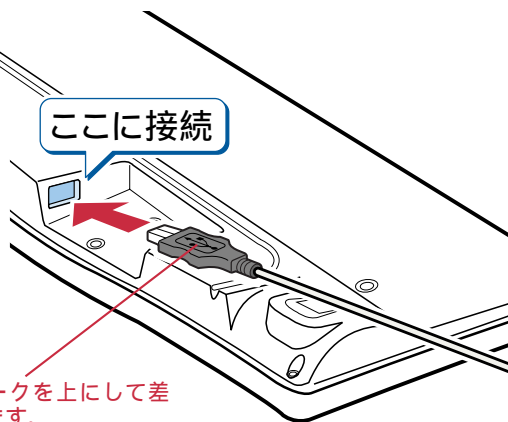
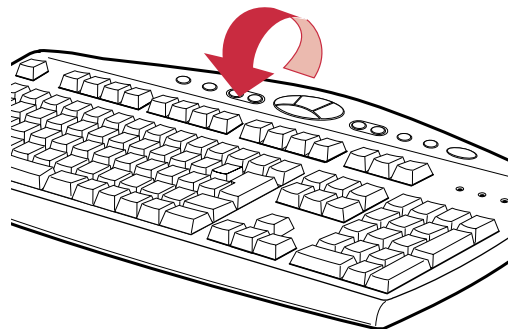
コンセントの穴が3つの場合

アダプタプラグを取り外してから、コンセントに差し込みます。



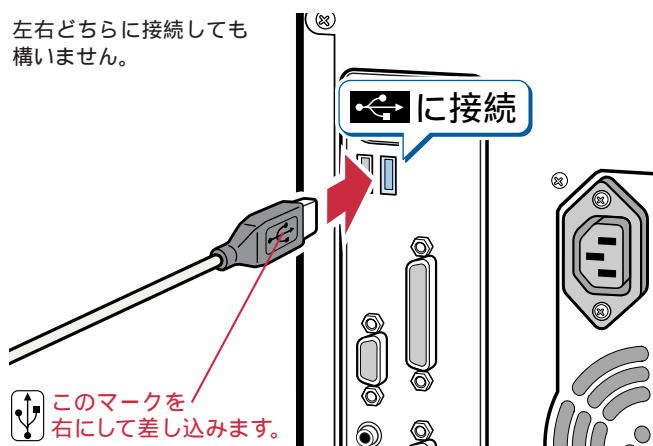
マウス / キーボードを接続する

キーボードを裏返し、マウスを接続します。

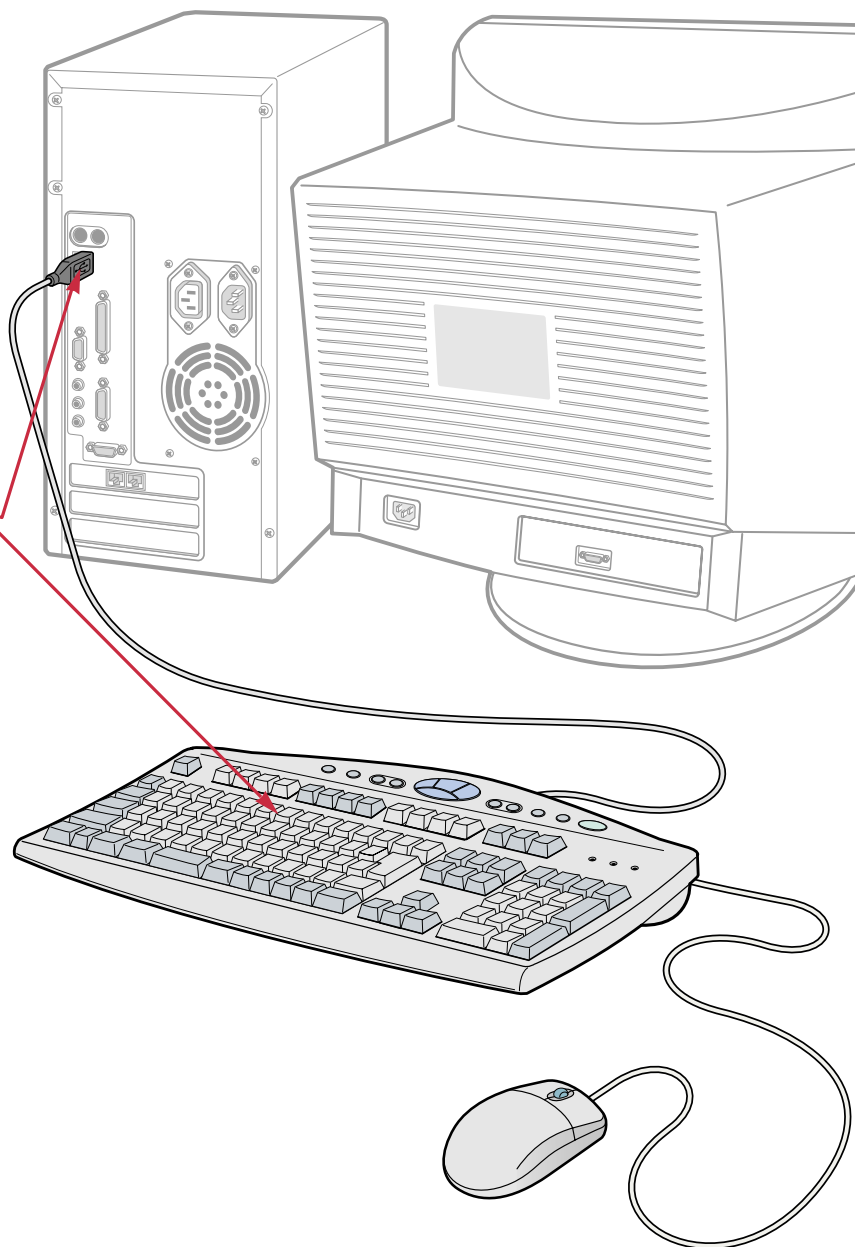


キーボードをパソコン本体に接続します。

左右どちらに接続しても構いません。



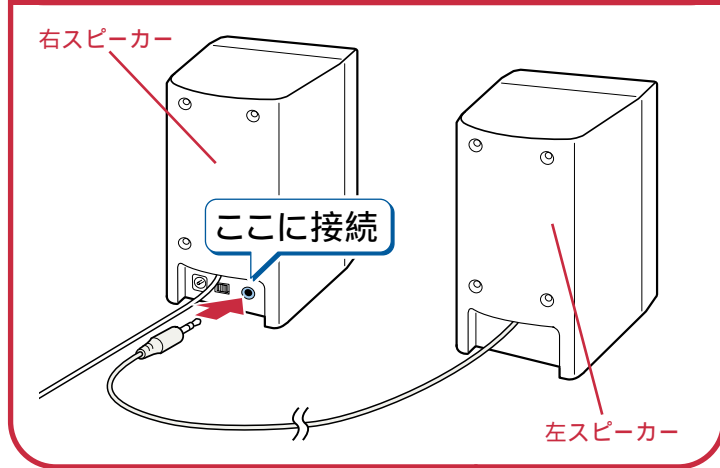
背面から見た図です。



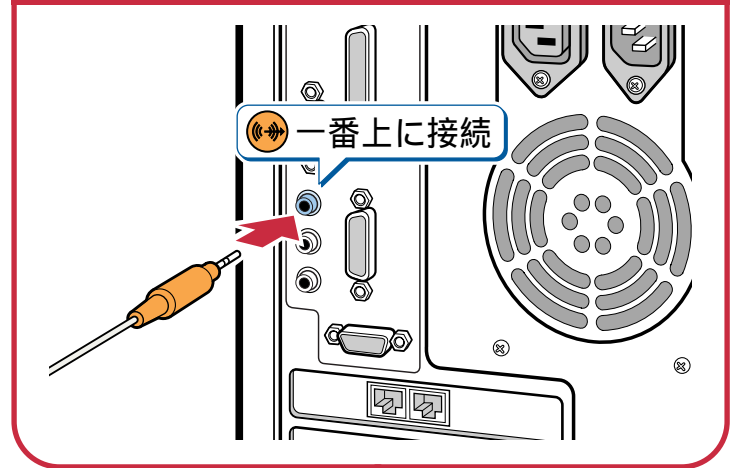
キーボードやマウスなど、関連しないケーブル類のイラストは省略しています。

スピーカーを接続する

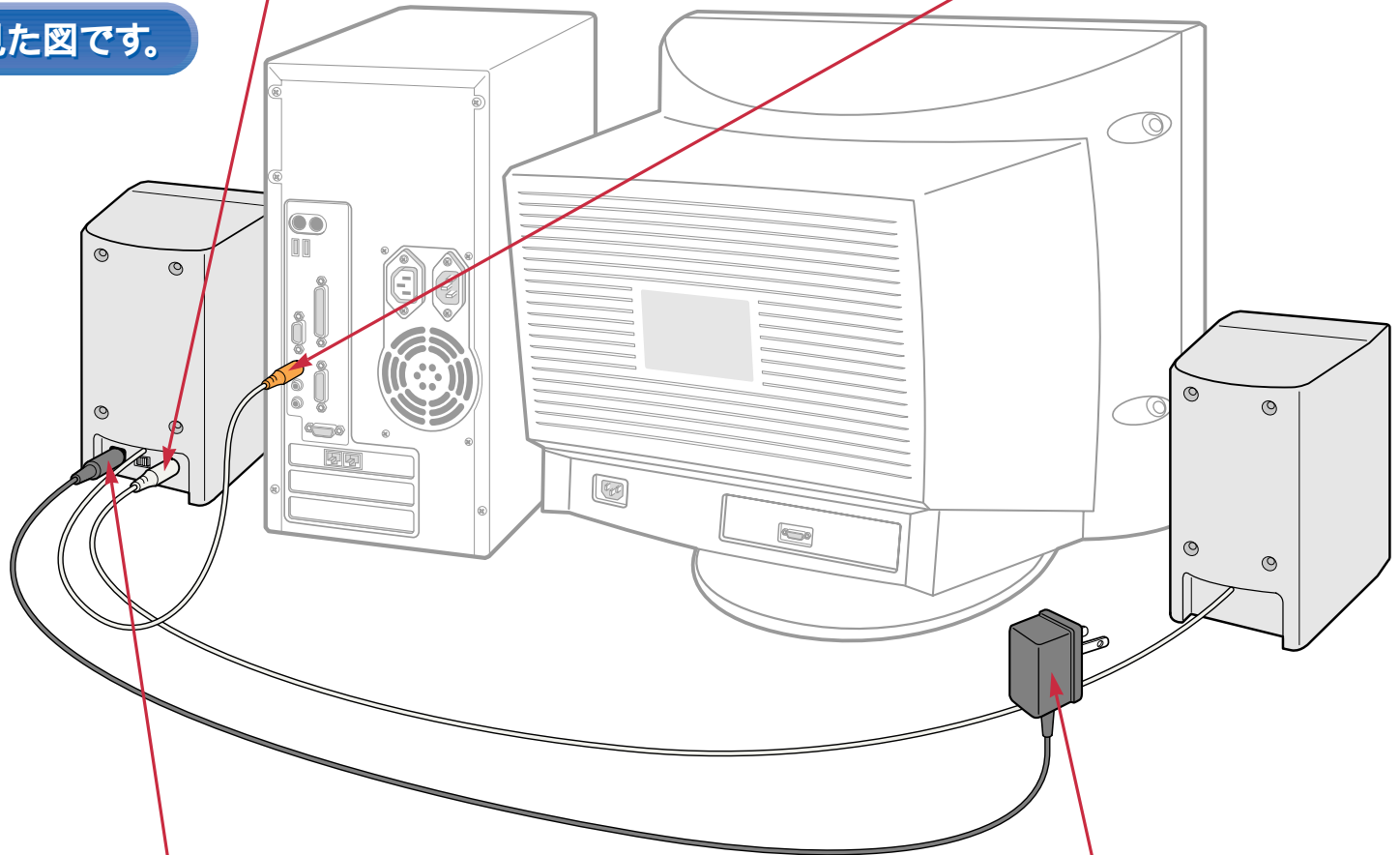
左右のスピーカーを接続します。



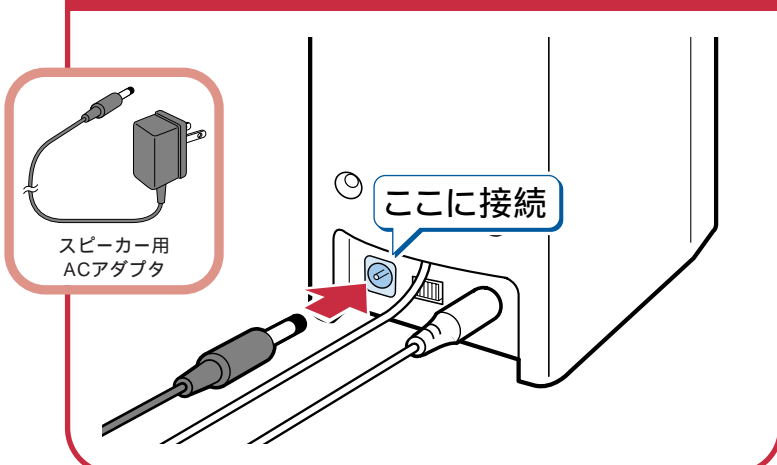
右スピーカー背面から出ているケーブルを、パソコン本体に接続します。



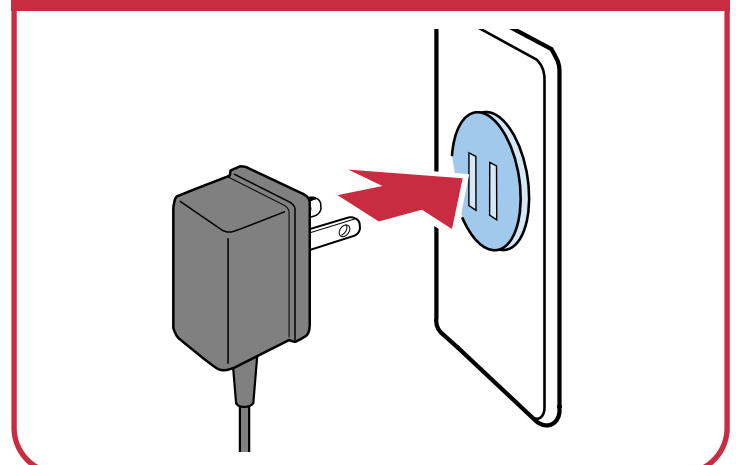
背面から見た図です。



ACアダプタを、右スピーカーに接続します。



ACアダプタを、コンセントに接続します。



キーボードやマウスなど、関連しないケーブル類のイラストは省略しています。

インターネットをしたい方は

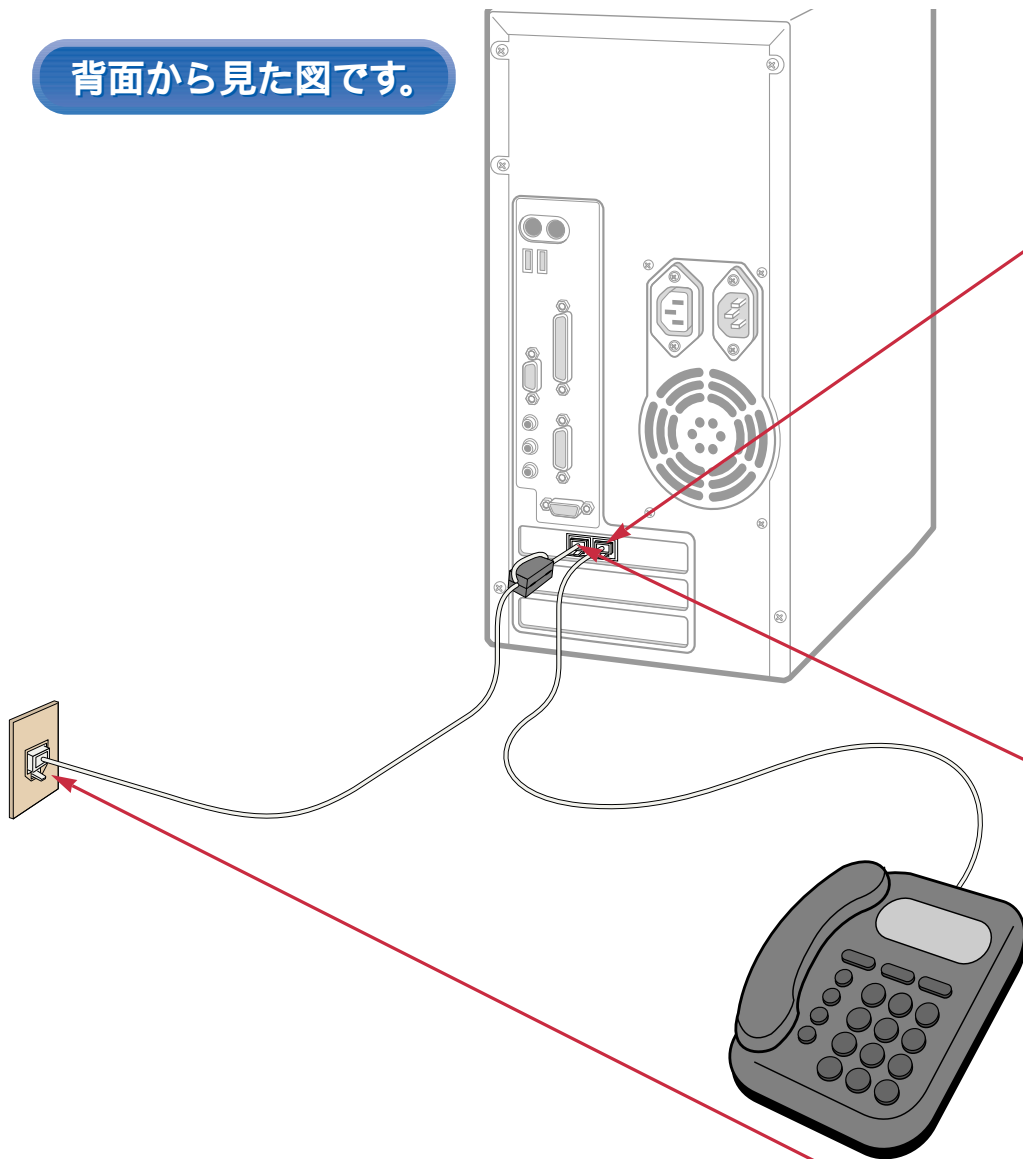
本書の後半で、インターネット無料体験の始めかたを紹介しています。すぐにインターネットを始めたい方は、パソコンと電話回線を接続しておいてください。

注意

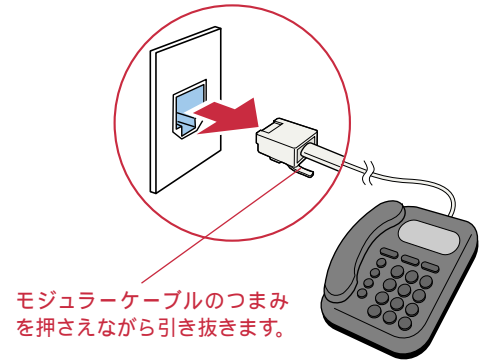
⚠ 電話回線の差し込み口(モジュージャック)に指などを入れないでください。感電の原因となることがあります。

⚠ 本パソコンをISDNなどのデジタル回線に直接接続しないでください。火災・故障の原因となることがあります。必ずTA(ターミナルアダプタ)を経由して接続してください。

背面から見た図です。

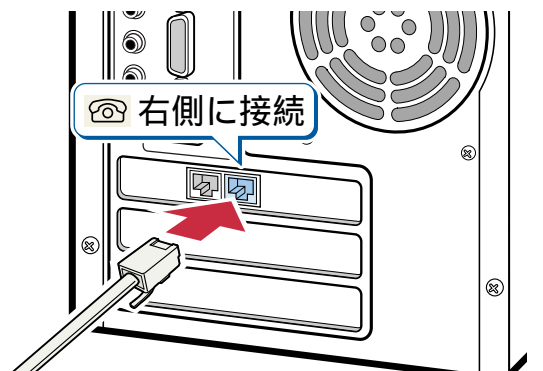


お使いになっている電話機を電話回線の差し込み口から外します。



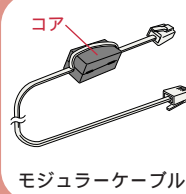
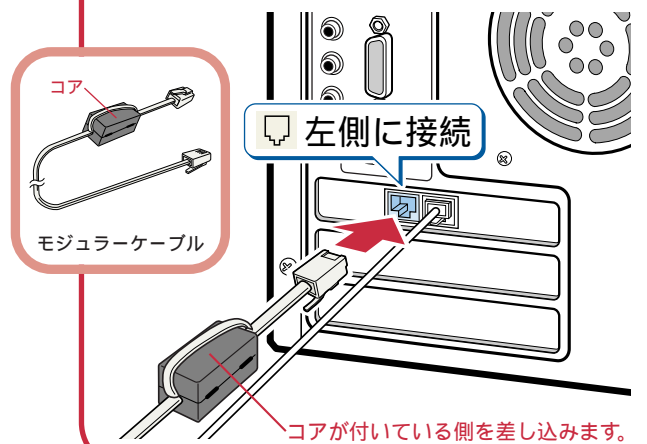
モジュラーケーブルのつまみを押さえながら引き抜きます。

で外したモジュラーケーブルをパソコン本体に接続します。



カチッと音がするまで差し込んでください。

添付のモジュラーケーブルをパソコン本体に接続します。

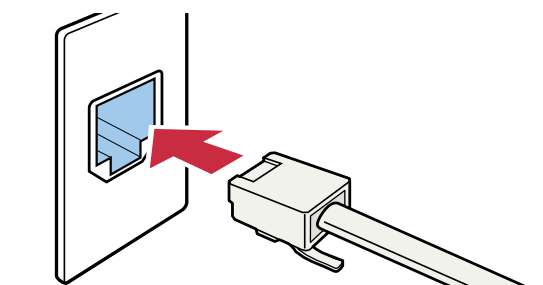


コア

モジュラーケーブル

コアが付いている側を差し込みます。

添付のモジュラーケーブルを電話回線の差し込み口に接続します。



でパソコン本体に接続したモジュラーケーブルの反対側を差し込みます。

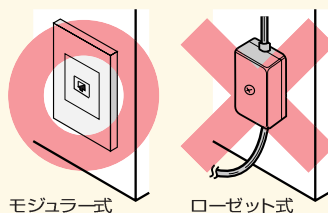
重要

電話回線の種類を確認してください

インターネットを始めるときに、電話回線の設定が必要になります。「お使いの電話回線を知りましょう」(▶ P.38)をご覧ください。電源を入れる前に電話回線の種類を確認しておきましょう。

モジュラー式の接続について

電話回線の差し込み口がローゼット式の場合は、モジュラー式の差し込み口に変更が必要です。(詳しくはNTTにご相談ください)



モジュラー式

ローゼット式

モジュラーケーブルの長さが足りないときは

添付のモジュラーケーブルでは長さが不足する場合、十分な長さの市販品をお買い求めください。

初めて電源を入れる ~ Windows 98のセットアップ

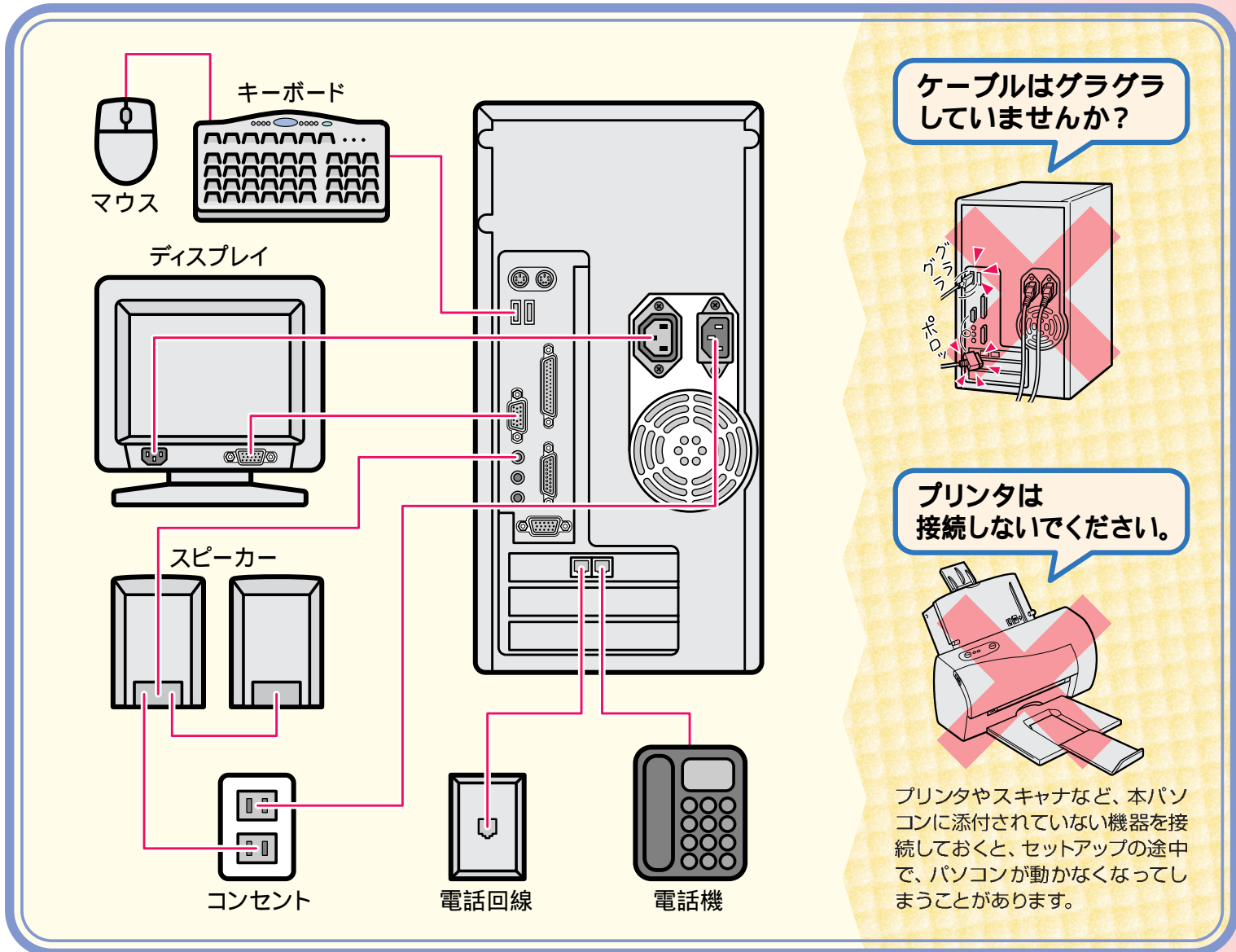
ここでは、初めて電源を入れるとき1回だけ行う操作について説明します。

Windows 98のセットアップをする

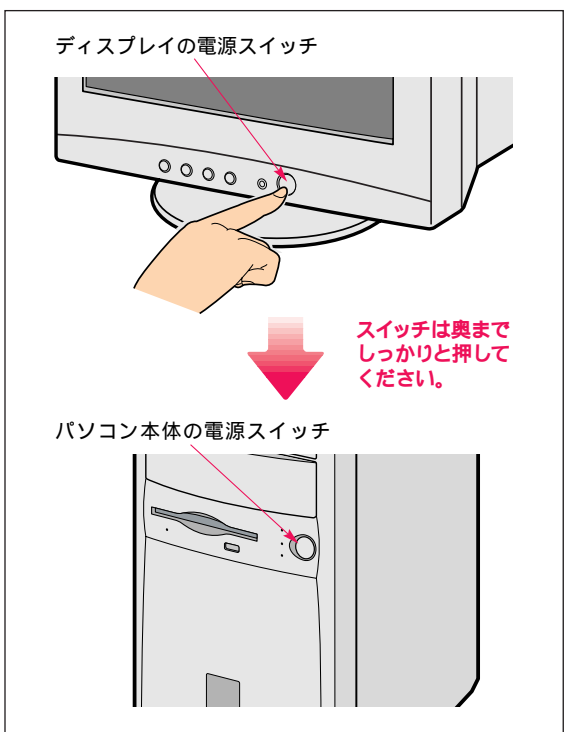
1

下のイラストのように、接続がきちんとできていることを確認します。

ケーブルが奥までしっかりと差し込まれているか、念のためもう一度お確かめください。



2



ディスプレイの電源スイッチを押し、次にパソコン本体の電源スイッチを押します。

ディスプレイの電源は、パソコン本体の電源スイッチを押したときに自動的に入ります。

アドバイス

ディスプレイの電源スイッチは最初の1回だけ

次からは、電源を入れるときにディスプレイの電源スイッチを押す必要はありません。

アドバイス

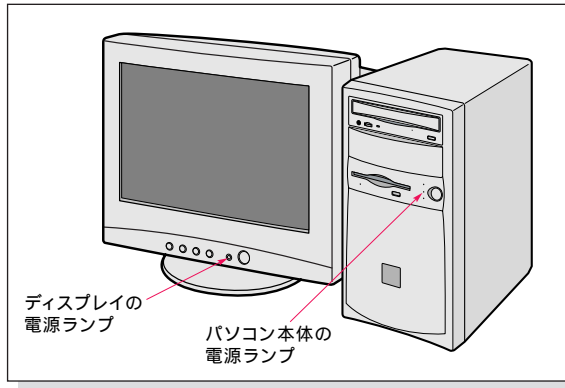
Windows 98とは？

Windows 98は、パソコンを使うときに必要となる「基本ソフトウェア」で、「OS(オペレーティングシステム)」と呼ばれるものです。

本パソコンを使うには、はじめにWindows 98の設定作業(セットアップ)が必要です。

セットアップには、30分から1時間ほどかかります。

3



パソコン本体とディスプレイの電源ランプが緑色に点灯していることを確認します。

電源が入ると、画面にさまざまな文字などが表示されます。そのまましばらくお待ちください。「Windowsのセットアップをする前に」という画面が表示されたら、次の手順に進みます。

!! 電源ランプが点灯しないときは

ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは：
まず、パソコン本体の電源ランプが緑色に点灯しているか確認してください。パソコン本体の電源が入っていないと、ディスプレイの電源は入りません。

パソコン本体の電源ランプが緑色に点灯しているのにディスプレイの電源が入らないときは：
ケーブルの接続がきちんとできているか確認し、もう一度ディスプレイの電源スイッチを押してください。

パソコン本体の電源ランプが点灯しないときは：
ケーブルの接続がきちんとできているか確認し、もう一度パソコン本体の電源スイッチを押してください。

重要

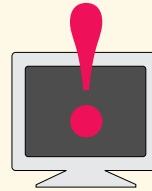
セットアップが終わるまで電源を切らないでください

Windows98のセットアップを途中で止めると、パソコンが故障する原因となります。セットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。

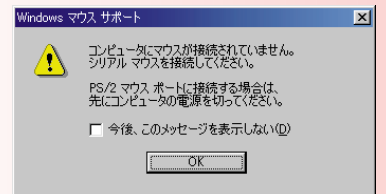


画面が真っ暗になったら

電源を入れた状態でしばらく(約30分間)操作しないと、画面が真っ暗になることがあります。電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。マウスを動かしたり、キーボードのキーのどれかを押すと、元の画面に戻ります。



!! 「マウスが接続されていません」と表示されたときは



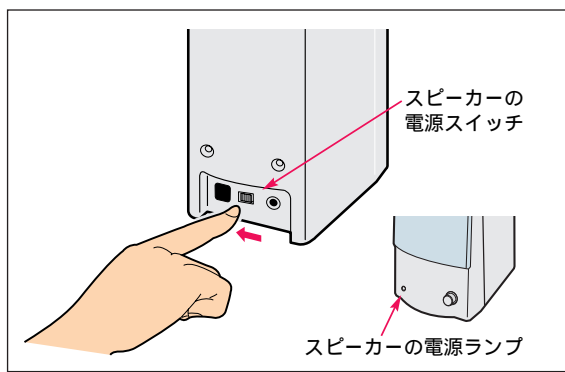
上のような画面が表示されたときは、次の手順に従ってパソコンの電源を入れ直してください。

パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けたままにして、強制的に電源を切ります。ディスプレイの電源スイッチは操作しません。

キーボードとマウスの接続がきちんとできているか確認します。

もう一度パソコン本体の電源スイッチを押します(4秒以上押さないでください)。

4



右スピーカー背面の電源スイッチを左にスライドさせます。

スピーカー前面の電源ランプが点灯します。

5

Windowsの セットアップをする前に マウスの使いかたを練習します。 (約3分かかります。)

練習をする → Enter キーを押してください。

練習をしない → Esc キーを押してください。

マウス練習の説明が始まります。

Windows 98のセットアップはマウスを使って行います。初めての方は、画面に表示される説明に従って、マウスの練習をしてみましょう。練習を終わらせると、手順 6 の画面に進みます。

!? 手順 6 の画面が出ないときは

マウスの練習を終わらせても手順 6 の画面が出ないときは、マウスを少し動かしてみてください。

左ボタン
普段はこのボタンを使います。

右ボタン
本書の作業では使いません。

スクロールボタン
本書の作業では使いません。使いかたについて詳しくは、『使いこなす本ハード編』の「スクロールボタンを使う」をご覧ください。

これがマウスです
形がネズミに似ているので「マウス」と呼ばれます。

マウスの使いかた

マウスの持ちかた

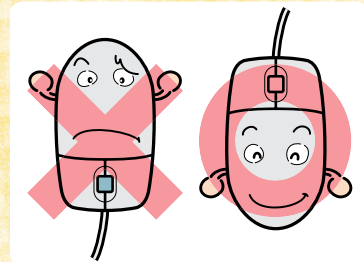
マウスを机の上などの平らな場所に置き、左右のボタンに指がかかるように手を軽く載せます。

手のひらの下の部分が、軽く机に触れるようにしてください。



マウスのしっぽを上!

マウスはコードを上にする形で使います。

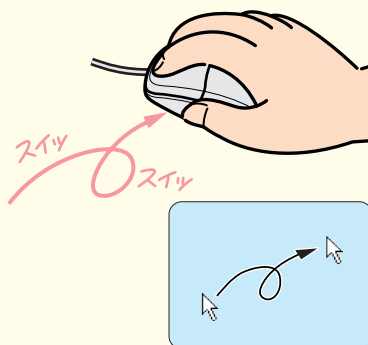


マウスを動かす

マウスを平らな場所に置いたまま、滑らせるようにして動かしてみましょう。

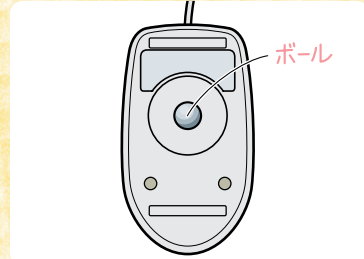
パソコンの電源が入っているときは、画面に表示されるマウスポインタが、マウスの動きに合わせて同じように動きます。

マウスポインタを「マウスポインタ」といいます。



マウスのしくみ

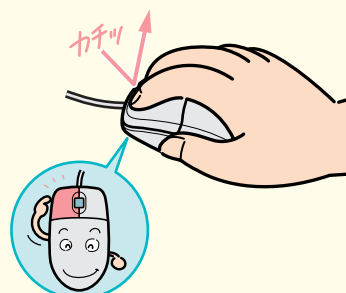
マウスには裏面にボールが付いています。マウスを机の上ですべらせると、ボールが回転して、画面上のマウスポインタが動くようになっています。



クリックする

マウスポインタを目的の位置に合わせ、マウスの左ボタンをカチッと1回押して、すぐ離します。

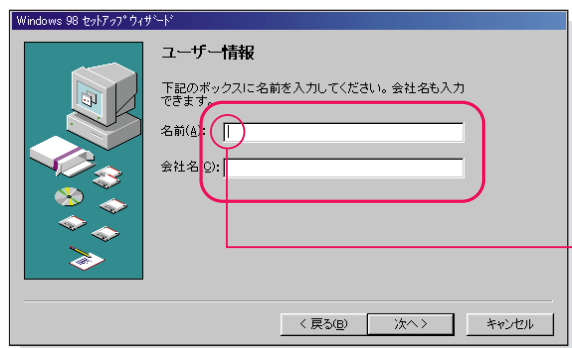
この操作のことを「クリック」といいます。



ボタンは軽く押すだけでOK!

力を入れて押す必要はありません。マウスのボタンは1回カチッと押しただけで、すぐ指を離すようにします。

6



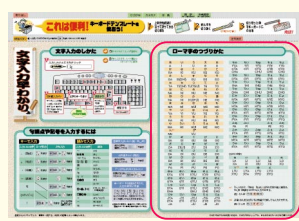
名前と会社名を入力します。

本パソコンを個人でお使いになるときは、会社名を入力を省略できます。

カーソル(点滅している|)の位置に文字を入力できます。

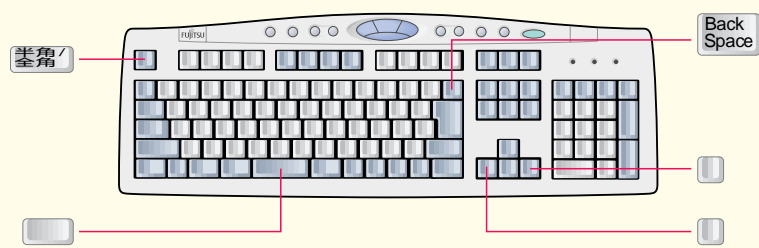
初めて文字を入力する方は

ここでは、ローマ字で名前を入力しましょう。ローマ字のつづりかたは、『お役立ちシート』をご覧ください。会社名の入力省略します。



ローマ字のつづりかたはここに書いてあります。

『お役立ちシート』



キーボードの **半角/全角** を押します。

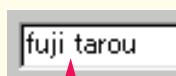
画面右下の **あ** が **A** に変わります。



入力したい文字のキーを押します。

英字が書いてあるキーを、1回ずつ順に押します。

例：「fuji tarou (ふじ たろう)」と入力するときは **F**、**U**、**J**、**I**、、**T**、**A**、**R**、**O**、**U** の順に押します。



(空白キー) を押すと、名字と名前の間に空白ができます。

操作がわからないときは

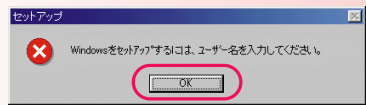
入力ができたら次のページへ

!! 手順 5 の画面が出ないときは

マウスの練習を終わらせても手順 5 の画面が出ないときは、マウスを少し動かしてみてください。

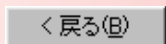
!! メッセージが表示されたときは

下のような画面が表示されたときは、「OK」をクリックしてください。



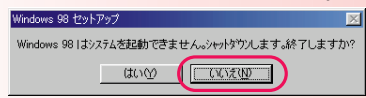
!! 違う画面に変わってしまったときは

「使用許諾契約書」という画面が表示された場合、「戻る」ボタンをクリックすると、もう一度「ユーザー情報」の画面に戻ることができます。



!! 「キャンセル」をクリックしたときは

下のような画面が表示されたときは、「いいえ」をクリックしてください。

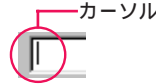


!! 入力する欄を変えるときは

入力したい欄をクリックして、カーソルを表示させます。

!! 文字が入力できないときは

入力したい欄にカーソル(|)が点滅していることを確認してください。カーソル(|)が表示されないときは、入力したい欄をクリックしてカーソルを表示させます。



!! ひらがなが表示されるときは

画面右下が **A** になっていることを確認してください。**半角/全角** を押すと、**あ** が **A** に変わります。

!! 文字を消したいときは

カーソル(|)の左側の1文字を消すには：**Back Space** を押します。

カーソル(|)を左右に移動するには： または を押します。

7

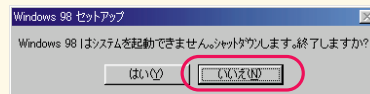


名前が正しく入力できたか確認し、
「次へ」をクリックします。

重要

「キャンセル」をクリックしないでください

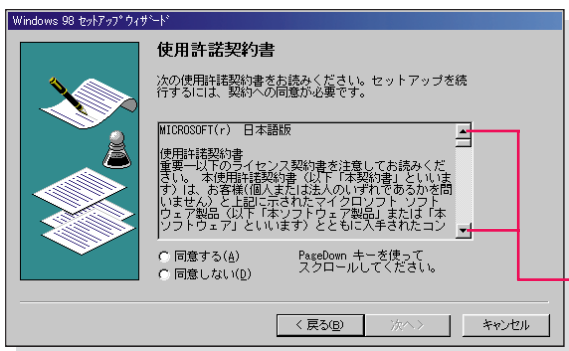
クリックすると、Windows 98のセットアップが中止されます。
「キャンセル」をクリックしてしまったときは、表示された画面で「いいえ」をクリックしてください。元の画面に戻ってWindows 98のセットアップを続けられます。



!? 電源が切れてしまったときは

セットアップを中止してパソコンの電源が切れてしまったときは、もう一度パソコン本体の電源スイッチを押し、手順 3 からやり直してください。

8



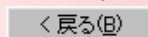
使用許諾契約書の内容をお読みください。

使用許諾契約書とは、Windows 98をお使いになるうえでの契約内容を記述したものです。

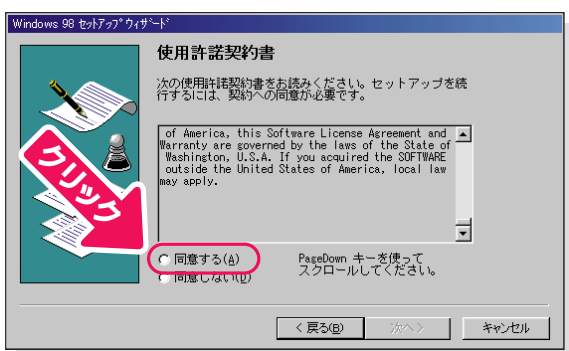
- ▼ をクリックすると、文章を読み進めることができます。
- ▲ をクリックすると、元に戻せます。

!? 前の画面に戻りたいときは

「戻る」をクリックしてください。1つ前の画面に戻ります。



9

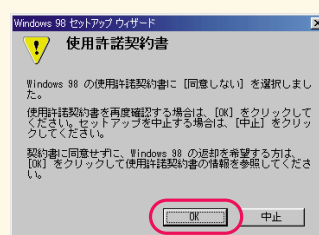


使用許諾契約書にご同意いただけるときは、「同意する」の左の☐をクリックして、☑にします。

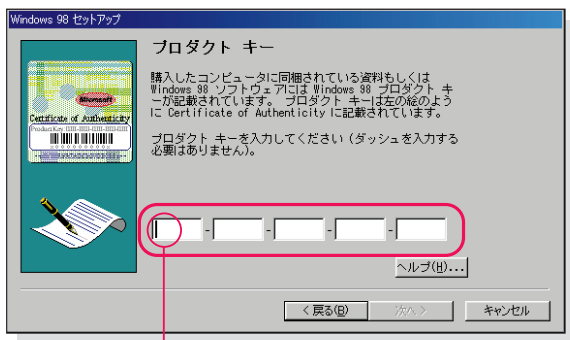
重要

「同意しない」をクリックしたときは

「同意しない」をクリックして進むと、Windows 98のセットアップが中止されます。
ご同意いただけないと、本パソコンはお使いになれません。
元の画面に戻るには、表示された画面で「OK」をクリックしてください。

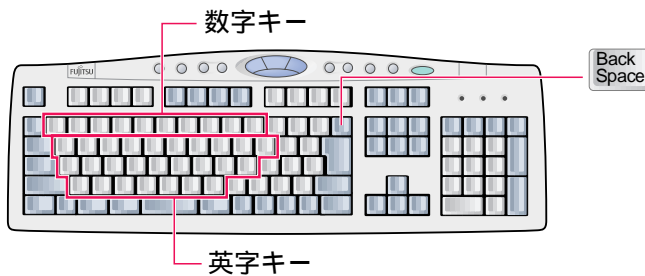


13



プロダクトキーの英数字を入力します。

カーソル(点滅している |)の位置に英数字を入力できます。
カーソルがないときは、入力したい欄をクリックしてカーソルを表示させます。



!? 間違えやすい文字

以下の英数字は間違えやすいので注意してください。

- 0(ゼロ)と O(オー)と D(ディー)と Q(キュー)
- 8(ハチ)と B(ビー)
- 6(ロク)と G(ジー)
- V(ブイ)と Y(ワイ)

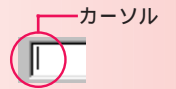
!? 文字を消したいときは

Back Space を押すと、カーソル(|)の左側の1文字が消えます。

Back Space を押しても文字が消えないときは、消したい文字の右側をクリックしてカーソルを表示させてから、**Back Space** を押します。

!? 文字が入力できないときは

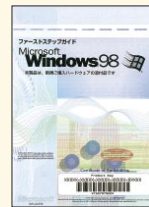
入力したい欄にカーソル(|)が点滅していることを確認してください。カーソル(|)がないときは、入力したい欄をクリックしてカーソルを表示させます。



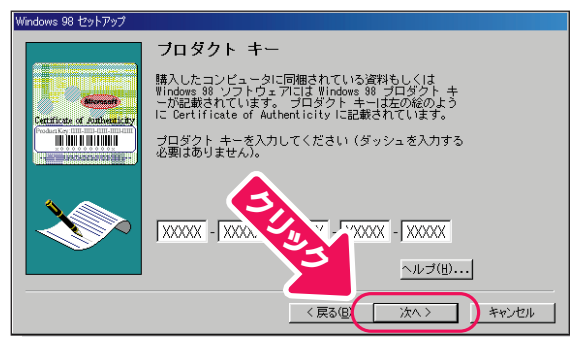
重要

『ファーストステップガイド』は大切に保管してください

何らかの原因でパソコンが動かなくなってしまったとき、もう一度Windows 98のセットアップを行っていただくことがあります。その際にWindows 98の『ファーストステップガイド』が必要になりますので、本書と共に大切に保管してください。



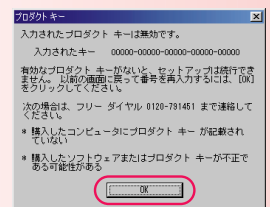
14



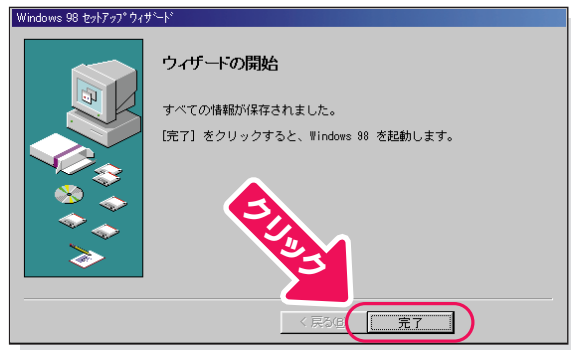
正しく入力できているか確認し、「次へ」をクリックします。

!? メッセージが表示されたときは

入力を間違えたまま「次へ」をクリックしてしまったときは、表示された画面で「OK」をクリックしてください。

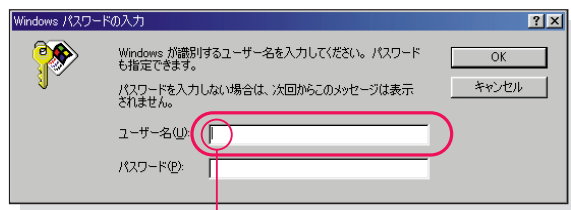


15



「完了」をクリックします。

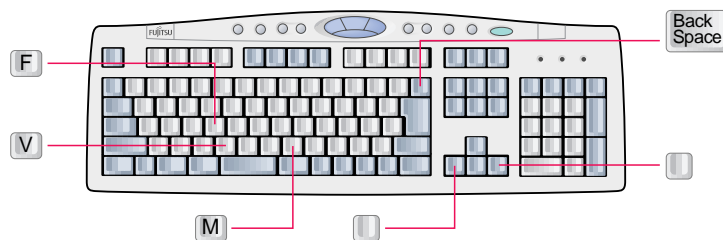
16



ユーザー名を英字で入力します。

ここでは「fmv」と入力してください。
F、**M**、**V** を順に押すと入力できます。
 パスワードを入力する必要はありません。

カーソル(点滅している |)の位置に文字を入力できます。



アドバイス

ユーザー名とパスワードについて

ユーザー名は「fmv」でなくてもかまいません。
 パスワードを入力すると、パソコンの電源を入れるたびにパスワード入力画面が表示されます。

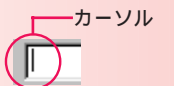
!! 文字を消したいときは

カーソル(|)の左側の1文字を消すには:
 Back Space を押します。

カーソル(|)を左右に移動するには:
 ← または → を押します。

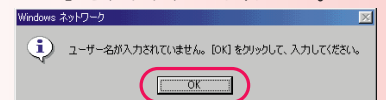
!! 文字が入力できないときは

入力したい欄にカーソル(|)が点滅していることを確認してください。
 カーソル(|)がないときは、入力したい欄をクリックしてカーソルを表示させます。

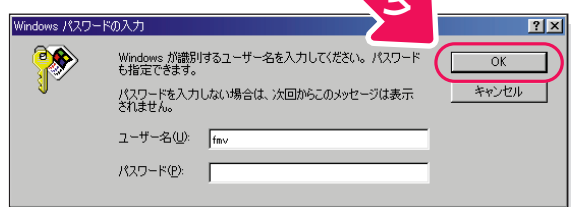


!! メッセージが表示されたときは

下のような画面が表示されたときは、「OK」をクリックしてください。



17



ユーザー名が正しく入力できたか確認し、

「OK」をクリックします。

次の画面が表示されるまでお待ちください

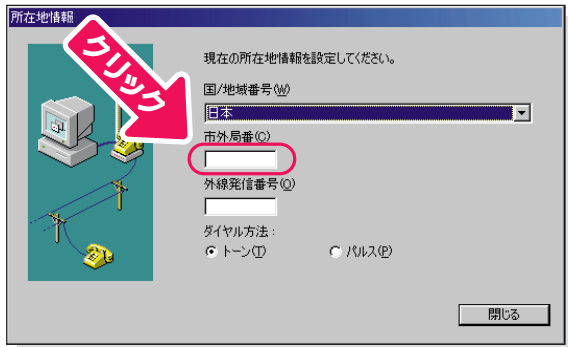


18



「閉じる」をクリックします。

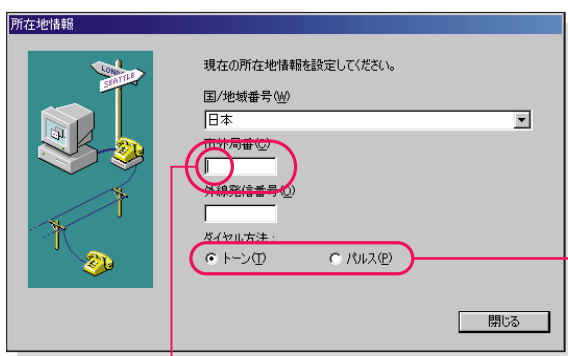
19



「市外局番」の下の空欄をクリックします。

クリックすると文字を入力するためのカーソルが表示されます。

20



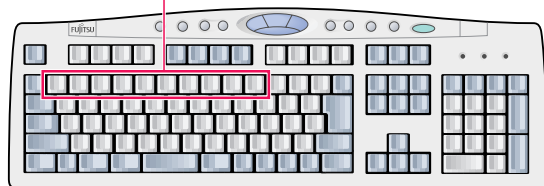
パソコンをお使いになる場所の市外局番を入力します。

電話回線の設定も確認してください。

インターネットなどに使う電話回線の種類を設定します。詳しくは、「お使いの電話回線を知りましょう」(●▶ P.38)をご覧ください。回線の種類がわからない場合は、「トーン」にしておいてください。

カーソル(点滅している |)の位置に文字を入力できます。

数字キーで入力します。

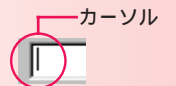


!? 市外局番や電話回線がわからないときは

適当な数字を入力して、次の手順に進んでください。市外局番や電話回線の設定は、あとから変更することができます。

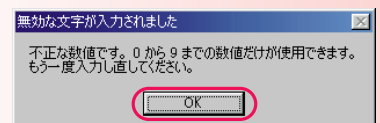
!? 数字が入力できないときは

「市外局番」の欄にカーソル(|)が点滅していることを確認してください。カーソル(|)がないときは、クリックしてカーソルを表示させます。

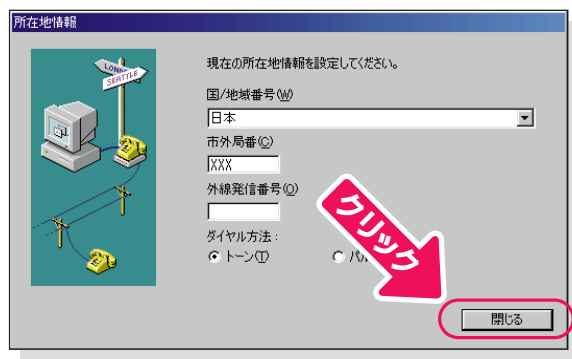


!? メッセージが表示されたときは

「OK」をクリックすると、元の画面に戻ります。



21

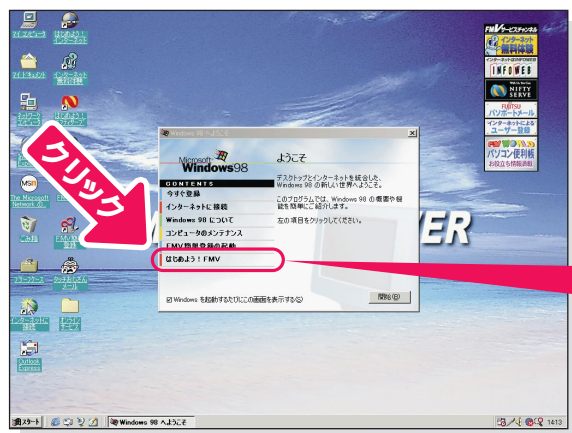


市外局番が正しく入力できたか確認し、
「閉じる」をクリックします。

次の画面が表示されるまでお待ちください



22

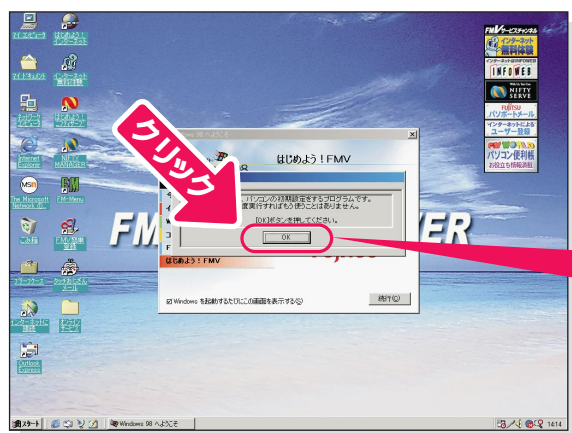


画面が表示されたのを確認し、
「はじめよう! FMV」をクリックします。



(これ以降の画面は実際と異なる場合があります)

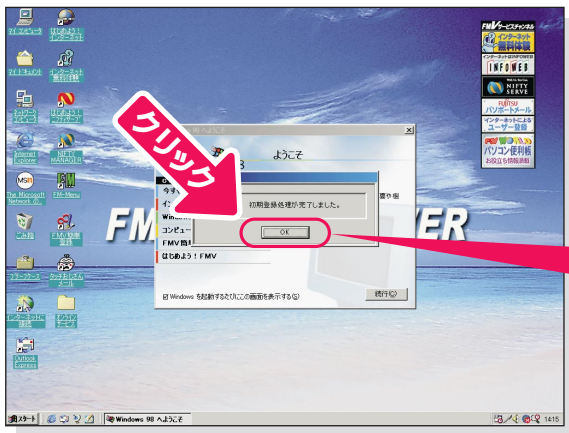
23



「OK」をクリックします。



24



「OK」をクリックします。

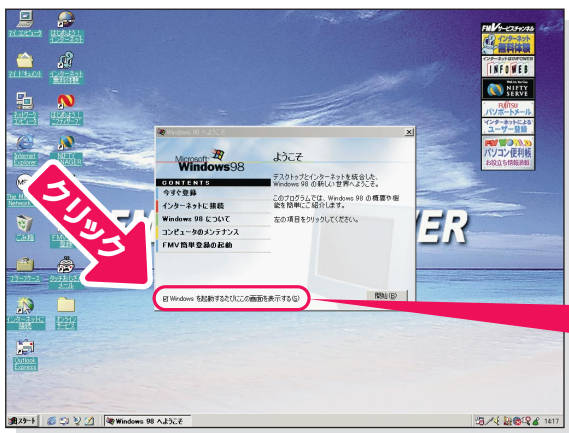
画面が暗くなり、再び表示されます(再起動されます)。

OK

次の画面が表示されるまでお待ちください



25



画面が表示されたのを確認し、

「Windowsを起動するたびにこの画面を表示する」の左の☑をクリックして、☐にします。

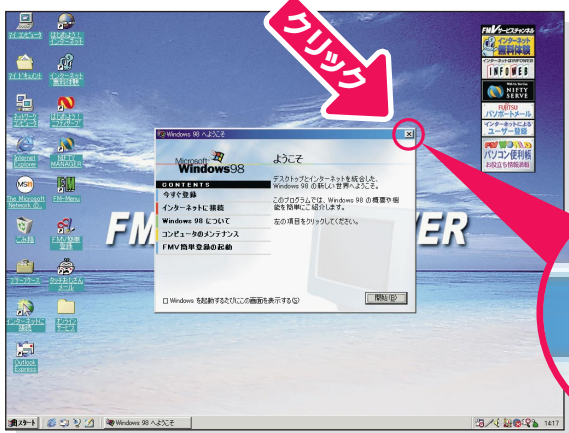
Windows を起動するたびにこの画面を表示する(S)

アドバイス

「Windows 98へようこそ」画面について

「Windows 98へようこそ」の画面を再び表示させるときは、『トラブル解決Q&A』の「Windows 98へようこそ画面を表示させたい」をご覧ください。

26



✕をクリックします。

✕

 **重要**

電源スイッチで電源を切らないでください

パソコン本体の電源スイッチで電源を切ると、故障などの原因となります。
電源の切りかたについて詳しくは、「電源の切りかたと入れかたを覚える」(●▶ P.24)をご覧ください。



これでWindows 98のセットアップは終わりです。

Windows 98のセットアップが終わったら...

次のページへ

パソコン各部の名称を試みよう！

パソコン各部の名称

ここでは、最初に知っておきたいパソコン各部の名称と働きを紹介します。

パソコン本体周辺

フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクをセットします。

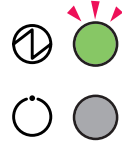
CD-ROMドライブ

CD-ROMや音楽CDをセットします。

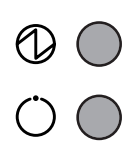
電源ランプ

パソコンの状態を表します。

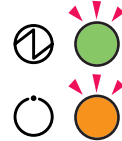
《電源 オン》



《電源 オフ》

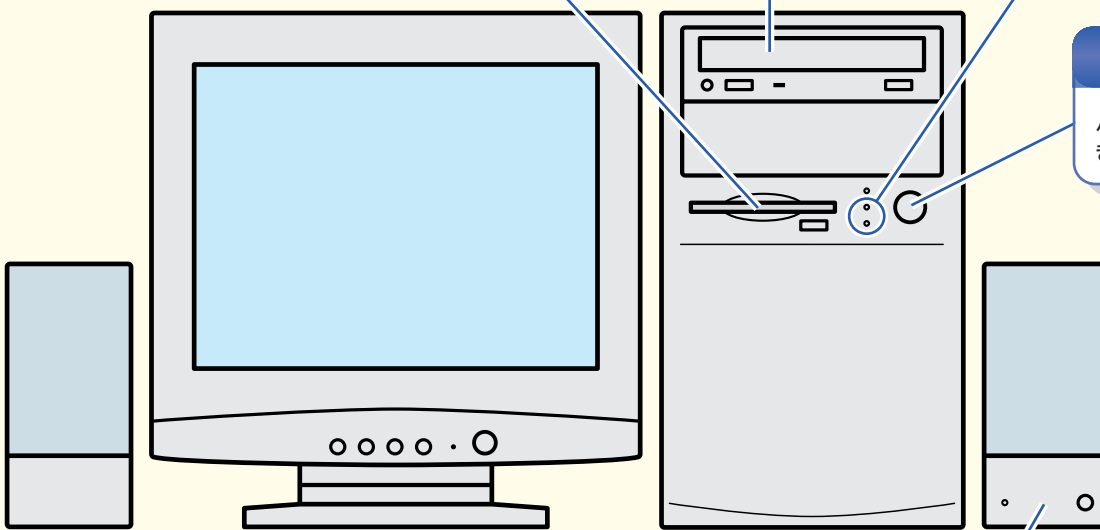


《省電力状態》



電源スイッチ

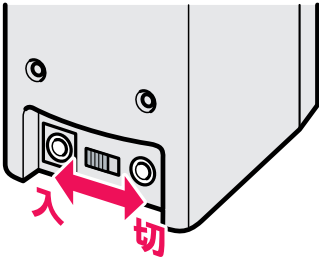
パソコン本体の電源を入れるときに押します。



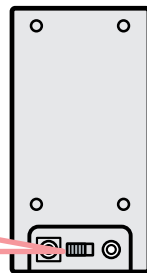
スピーカー

電源スイッチ

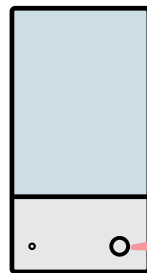
電源を入れるときは左に、切るときは右にスライドさせます。



《右スピーカー背面》

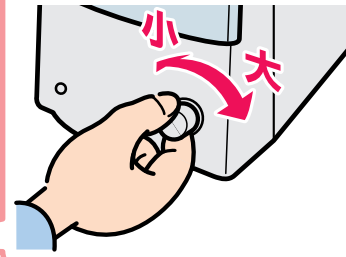


《右スピーカー前面》



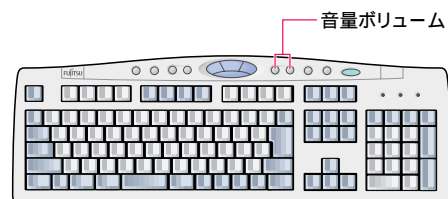
音量ボリューム

音量を大きくするときは右に、小さくするときは左に回します。



キーボードでも音量が調節できます。

詳しくは『使いこなす本 ハード編』の「各部の名称と働き」をご覧ください。



パソコン各部の名称を確認したあとは...

次のページへ

電源の切りかたと入れかたを覚えよう!


電源の切りかたと入れかたを覚える

一般の家電製品と大きく違います。とても重要なので正しい方法を覚えてください。

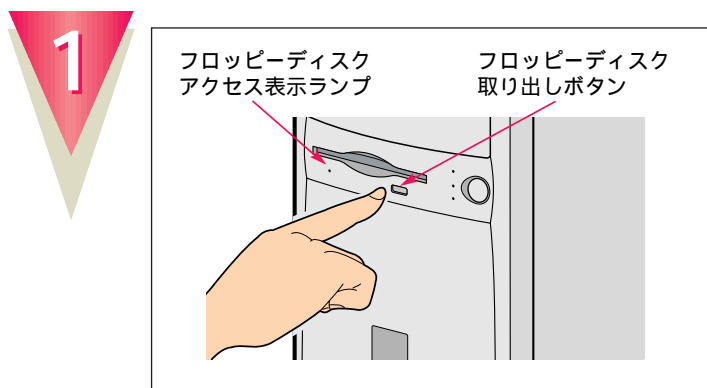
電源を切る前の確認をする

パソコンにフロッピーディスクやCD-ROMが入っている場合は、電源を切る前に取り出しておきます。

注意

けが
 フロッピーディスク/CD-ROMなどを取り出すときは、フロッピーディスクドライブ/CD-ROMドライブの差し込み口またはトレイに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

フロッピーディスクが入っている場合



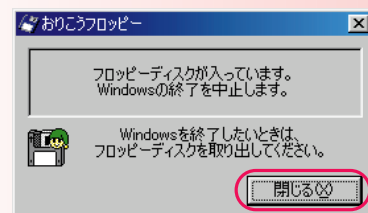
フロッピーディスクアクセス表示ランプが消えていることを確認し、

フロッピーディスク取り出しボタンを押して、フロッピーディスクを取り出します。

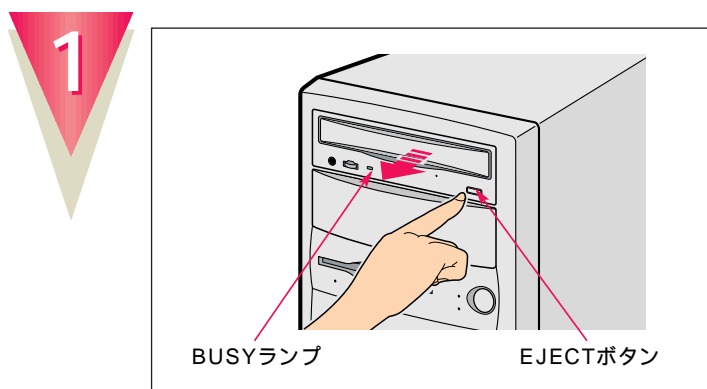
アドバイス

フロッピーディスクを入れたままだと...

パソコンの電源を切るときにエラーメッセージが表示されます。「閉じる」をクリックし、左の手順に従ってフロッピーディスクを取り出してください。



CD-ROMが入っている場合



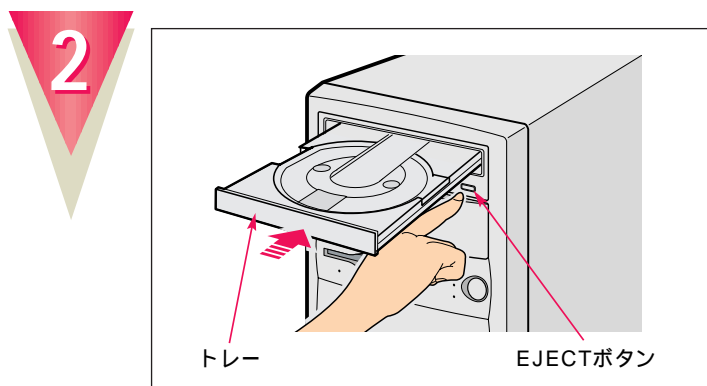
BUSYランプが消えていることを確認し、

EJECTボタンを押して、CD-ROMを取り出します。

アドバイス

CD-ROMを入れたままだと...

パソコンの電源を切ってしまうと、CD-ROMや音楽CDは取り出せません。



CD-ROMを取り出したら、

EJECTボタンを押して、トレイを元に戻します。

電源の切りかた

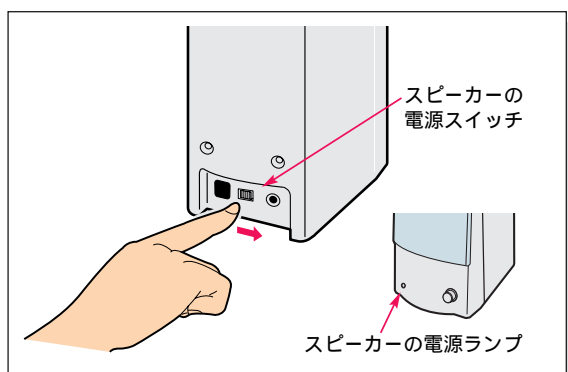
重要

電源スイッチで電源を切らないでください

パソコン本体の電源スイッチで電源を切ると、故障などの原因となります。



1



スピーカーの電源が入っているときは、

右スピーカー背面の電源スイッチを右にスライドさせます。

スピーカー前面の電源ランプが消えます。
パソコンを使わないときは、スピーカーの電源も切っておきましょう。

2



「スタート」ボタンをクリックします。

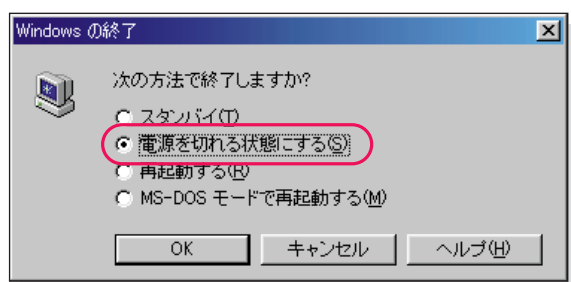
(この画面は実際と異なる場合があります)

3



「Windowsの終了」をクリックします。

4

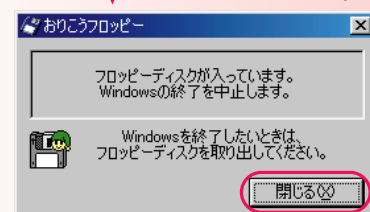


「電源を切れる状態にする」の左が☑になっていることを確認します。

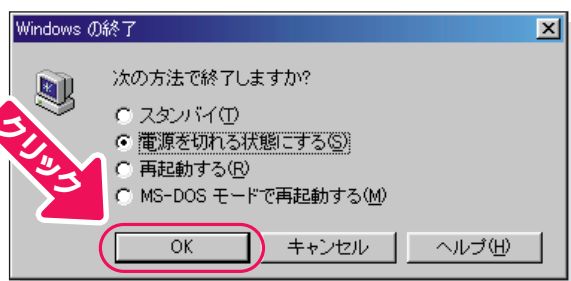
☐になっているときは、クリックして☑にします。

!?!? メッセージが表示されたときは

フロッピーディスクを入れたまま電源を切ろうとすると、下のような画面が表示されます。「閉じる」をクリックしてからフロッピーディスクを取り出し、もう一度手順▼からやり直してください。



5



「OK」をクリックします。

しばらくすると、パソコン本体とディスプレイの電源が自動的に切れます。

💡 アドバイス

電源スイッチは押さないでください

パソコン本体とディスプレイの電源スイッチを押す必要はありません。



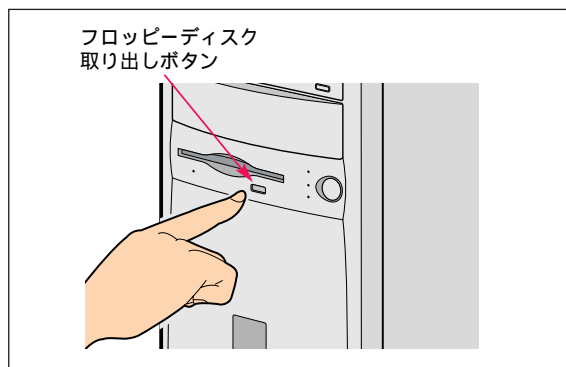
電源の入れかた

重要

電源を入れるときの注意

電源を切ったあとは、次に電源を入れ直すまで、10秒ほどお待ちください。

1



フロッピーディスクが入っていないことを確認します。

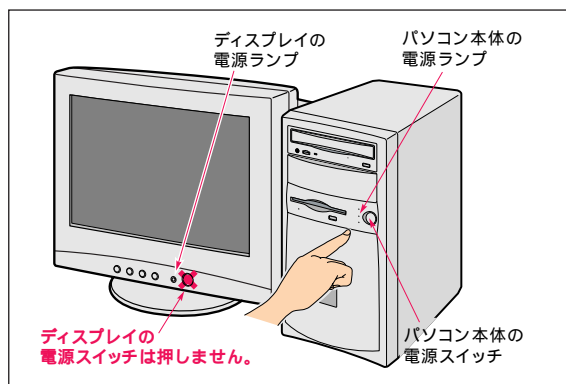
フロッピーディスクが入っているときは、フロッピーディスク取り出しボタンを押して、取り出します。

アドバイス

フロッピーディスクを入れたままだと...

パソコンの電源を入れたときにエラーメッセージが表示されることがあります。エラーメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクを取り出して、**Enter** を押してください。

2



パソコン本体前面にある電源スイッチを押します。

パソコン本体とディスプレイの電源ランプが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。

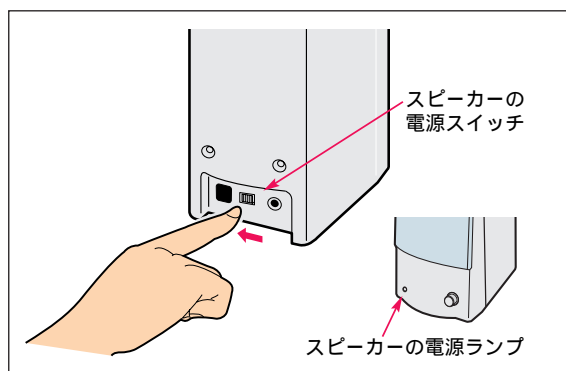
アドバイス

ディスプレイの電源スイッチについて

2回目に電源を入れるときからは、ディスプレイの電源スイッチを押す必要はありません。

押してしまったときは、もう一度スイッチを押して電源を入れ直してください。

3



右スピーカー背面の電源スイッチを左にスライドさせます。

スピーカー前面の電源ランプが点灯します。

次の画面が表示されるまでお待ちください




4



(この画面は実際と異なる場合があります)

画面が表示されたのを確認します。

!? メッセージが表示されたときは

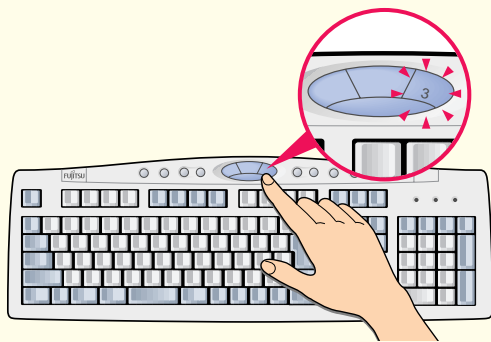
メッセージが表示されたままで Windows98 が始まらないときは、『使いこなす本 ハード編』の「BIOSが表示するメッセージ一覧」をご覧ください。

このあとは...

使い方に合わせてお選びください。

インターネットを今すぐやりたい

簡単操作のInfoWeb無料体験で、初めての方でもすぐにインターネットを楽しむことができます。



次のページへ

インターネット5時間無料体験を試してみよう！

パソコンの基本操作を覚えたい

ゲーム感覚でパソコンの基本操作や、インターネットの基礎知識を学ぶことができます。



P.36へ

『かるがるパソコン入門』を使ってみよう！

FMVをもっと知りたい

FMVの楽しい使いかたや、安心のサポート情報など、FMVを使いこなすための情報が満載です。



『FMV総合案内』へ

このマニュアルを見てみよう！

インターネット無料体験を試してみる

初めての方でも、すぐにインターネットを体験できます。

無料体験を始める前に

InfoWeb無料体験とは？

インターネットを5時間分、無料で体験できるサービスです。

ご利用時間の合計が5時間になるまで、何度でもインターネットに接続することができます。



電話料金のみ、お客様の負担となります

インターネットは、インターネット利用料金と、パソコンからアクセスポイント（インターネットの入り口）までの電話料金がかかります。

アクセスポイントまでの電話料金はおお客様の負担となりますので、あらかじめご了承ください。



無料体験の有効期限は1999年12月31日です

1999年12月31日を過ぎますと、ご利用時間にかかわらず無料体験はできなくなります。ご注意ください。

また、有効期限を過ぎてからの申し込みもできません。

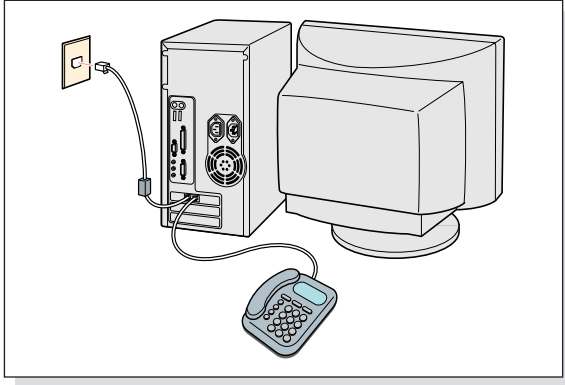
無料体験では、一部ご利用になれないサービスがあります

無料体験では、「ホームページ作成」、「Eメール（電子メール）」など、一部ご利用になれないサービスがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用になれないサービスについては、InfoWeb無料体験のホームページでご確認ください。


インターネット無料体験を始める

1



パソコンと電話回線は、しっかり接続されていますか？

詳しくは、「インターネットをしたい方は」(P.10)をご覧ください。

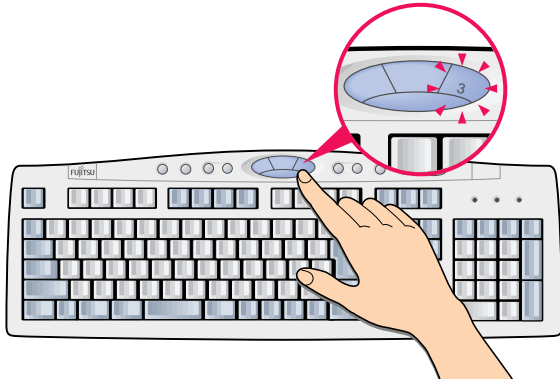
 アドバイス

電源は入っていますか？

インターネット無料体験は、パソコンの電源が入っていないと始められません。下のような画面が表示されているか、確認してください。



2




アプリケーション
Applicationボタンの「3」を押します。

このボタンを押すと、いつでも無料体験が始まります。

3

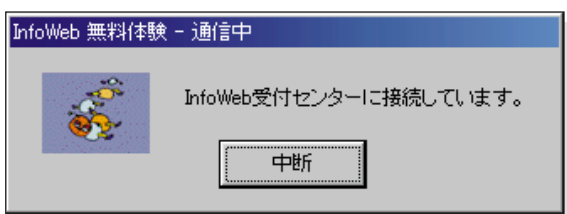


「ダイヤル」をクリックします。


 アドバイス

インターネット接続中に受話器を外さないでください

電話機の手話器を外れると、受話器からの音声が回線に入り込み、通話障害となってホームページなどが正しく表示されないことがあります。

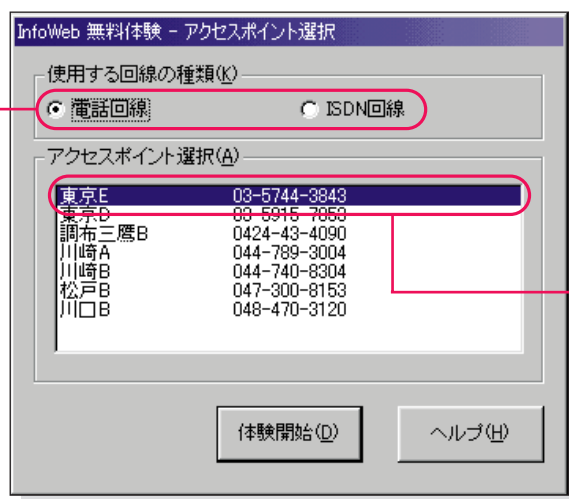


InfoWebの受付センターに接続され、手続きが行われます。

 「接続できませんでした」と表示されたときは

「無料体験エラーメッセージ一覧」(P.38)をご覧ください。

4



①お使いの回線の種類と、②最寄りのアクセスポイントが選ばれていることを確認します。

②現在の所在地と同じ市外局番、または最寄りの地域にある電話番号（アクセスポイント）が選ばれていることを確認します。変更したい場合は、他の電話番号をクリックして選択します。

①お使いの電話回線が選ばれていることを確認します。ISDNをお使いの場合は、「ISDN回線」をクリックして選択します。

アドバイス

アクセスポイントとは？

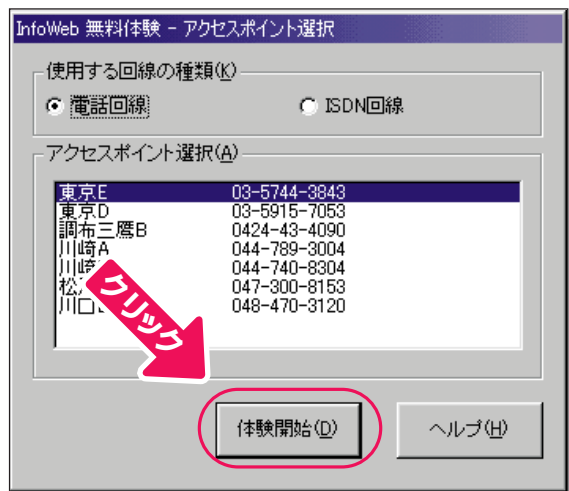
アクセスポイントとは、インターネットに接続するとき、入り口の役目はたず中継ポイントです。インターネットに接続中は、現在の所在地から最寄りのアクセスポイントまでの電話料金がかかります。

❗ 遠い地域のアクセスポイントが表示されたときは

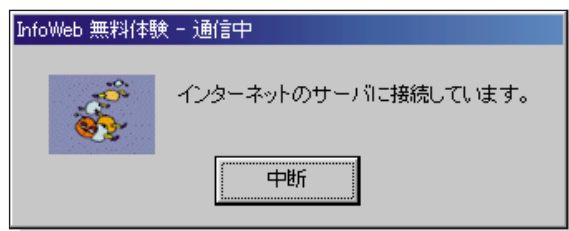
パソコンに設定されている市外局番が違う地域の番号になっています。次の手順で、アクセスポイントを変更してください。

- 1 手順 4 の画面で、そのまま何もせずに「体験開始」をクリックします。
- 2 「インターネットのサーバに接続しています。」という画面が表示されたら、「中断」をクリックします。
- 3 「無料体験のアクセスポイントを変更するには」(P.39) をご覧になり、市外局番を変更してください。

5



「体験開始」をクリックします。



これで最初の手続きが終わり、インターネットに接続します。

❗ 「接続できませんでした」と表示されたときは

「無料体験エラーメッセージ一覧」(P.38) をご覧ください。

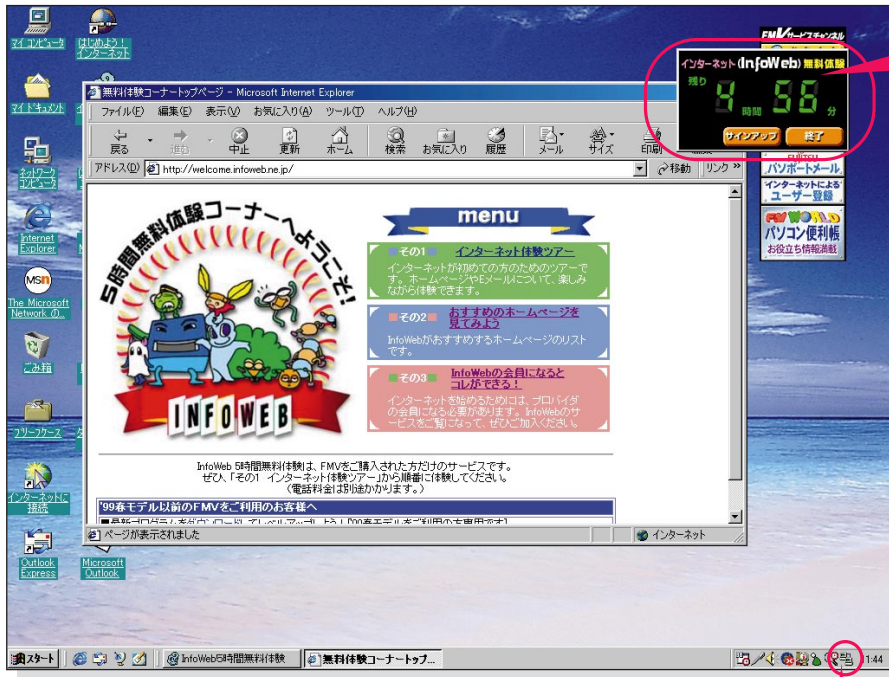
次の画面が表示されるまでお待ちください



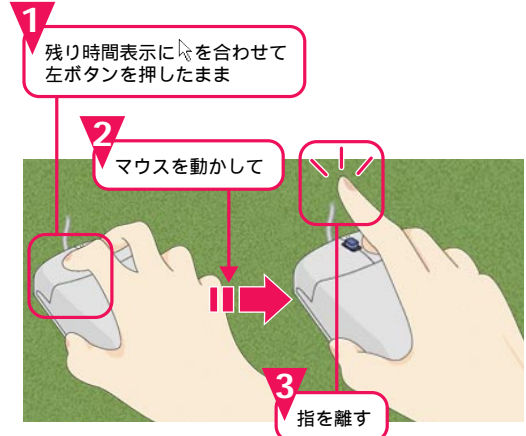
6

「InfoWeb無料体験」のホームページが表示されます。

これでインターネットに接続できました。



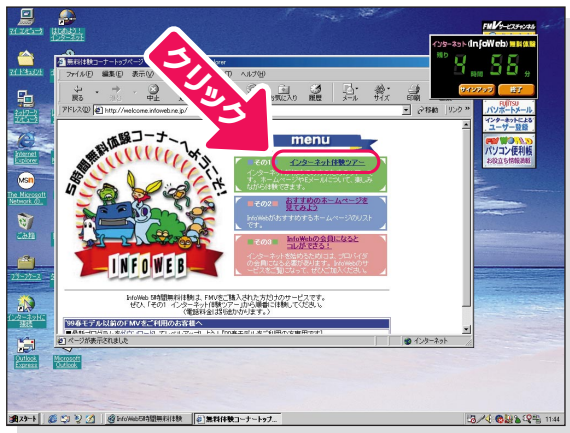
無料体験の残り時間が表示されます。
この表示を他の場所に動かしたいときは、次の手順で移動（ドラッグ）してください



(これ以降の画面は実際と異なる場合があります)

が表示されているときは、インターネットに接続していますので、電話料金がかかっています。

7



「インターネット体験ツアー」にマウスを合わせ、マウスボタンに変わったらクリックします。

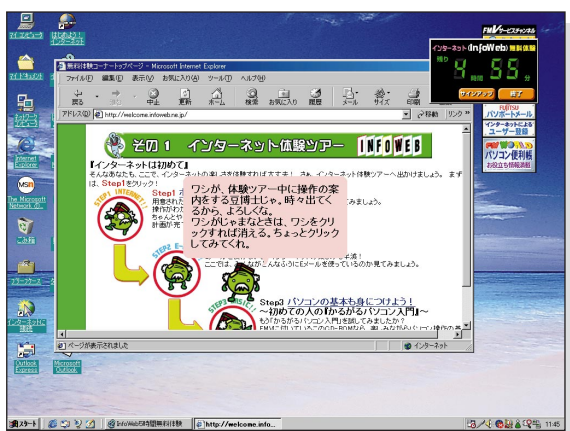
ここで、インターネットの基本操作を練習することができます。

アドバイス

10分間何もしないと自動的に回線が切断されます。

電話回線の切り忘れを防ぐために、インターネットに接続して約10分間何もしないと、自動的に回線が切断されます。

8



「インターネット体験ツアー」の画面が表示されたことを確認します。

このあとは、画面に表示される説明に従って、練習を進めてみましょう。

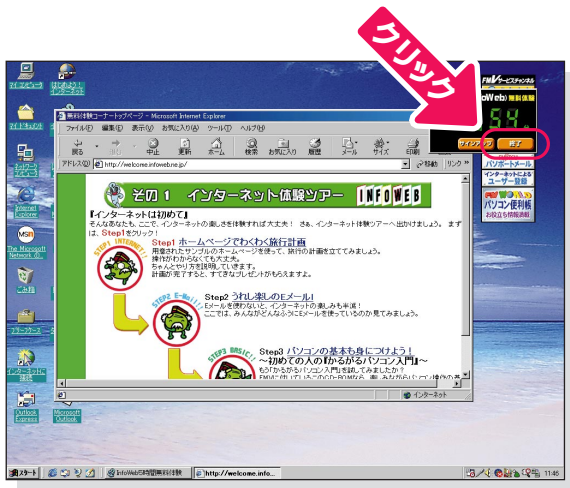
アドバイス

ホームページがなかなか表示されない場合

電話回線が混雑しているときや、ホームページに写真などがたくさん使われているときは、すべてを表示するまでに時間がかかることがあります。情報を受け取っている最中は画面右上の地球儀アイコンが回転し、地球儀の状態になります。数分たっても画面が表示されないときは、次ページの手順に従って無料体験を終了し、しばらくしてからやり直してください。

インターネット無料体験を終了する

1



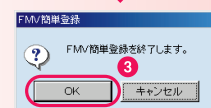
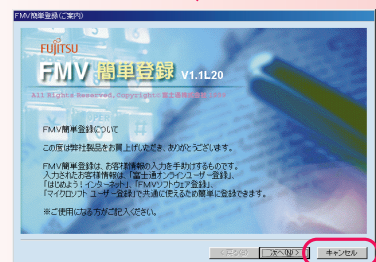
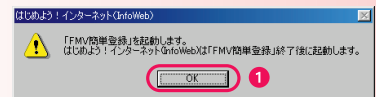
(これ以降の画面は実際と異なる場合があります)

残り時間表示の **終了** をクリックします。

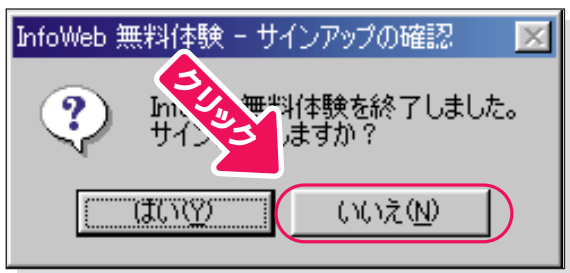
「サインアップ」をクリックすると、InfoWebへの正式な加入手続きが行われます。

!? 「FMV簡単登録」の画面が表示されたときは

すぐに登録をしないときは、**1**「OK」、**2**「キャンセル」、**3**「OK」の順にクリックして終了します。「FMV簡単登録」について詳しくは、『FMV総合案内』をご覧ください。

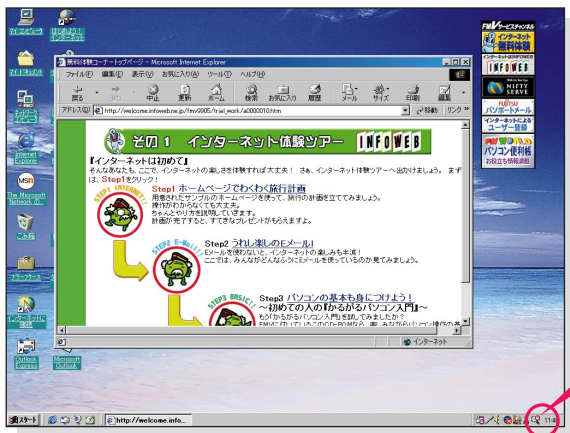


2

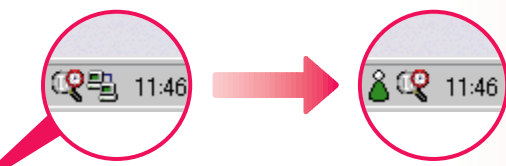


「いいえ」をクリックします。


ここで「はい」をクリックすると、引き続きInfoWebへの正式な加入手続きが行えます。




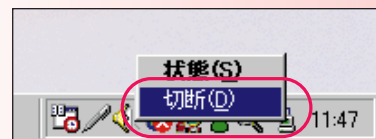
回線が切断されると、画面右下から  が消えます。



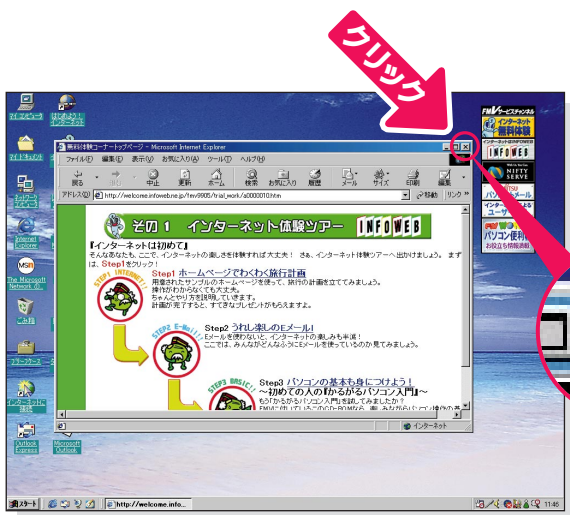
アドバイス

 が消えないときは

 にマウスポインタを合わせ、マウスの右ボタンを1回押し、「切断」をクリック(左ボタン)します。これで回線が切断されます。



3

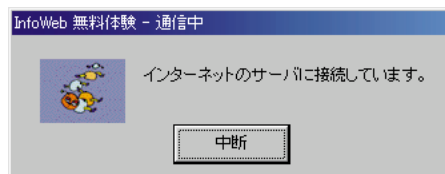
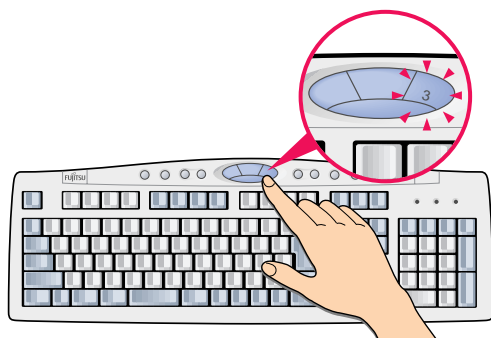


画面右上の **X** をクリックします。

これでインターネット無料体験が終了しました。

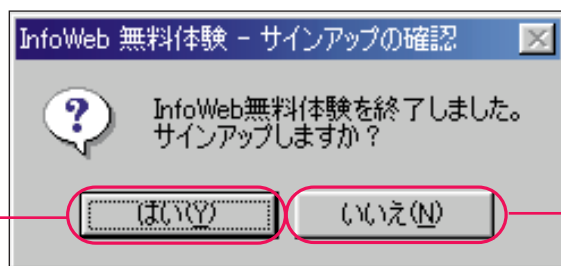
無料体験は、ご利用時間の合計が5時間になるまで何度でも楽しむことができます

もう一度インターネット無料体験を始めるには、アプリケーション Applicationボタンの「3」を押してください。



5時間の無料体験が終了したら...

アプリケーション 残り時間がなくなってから Applicationボタンの「3」を押すと、下のようなメッセージが表示されます。



すぐに入会するときは

「はい」をクリックします。引き続きInfoWebへの正式な加入申し込みが行えます。

あとで入会するときは

「いいえ」をクリックします。ここで「いいえ」をクリックしても、あとからInfoWebへの加入申し込みが行えます。

InfoWebへは、無料体験と同じようにパソコンから加入申し込みが行えます。詳しくは、 『使いこなす本 インターネット編』をご覧ください。

インターネット無料体験を試したあとは、

CD-ROM & マニュアル『かるがるパソコン入門』で、パソコンの基本操作を覚えよう！



インターネット無料体験を試したら...

次のページへ

『かるがるパソコン入門』を使ってみよう！

パソコンの基本操作を覚える

CD-ROM『かるがるパソコン入門』を使って、パソコンの基本操作を覚えましょう。

CD-ROM『かるがるパソコン入門』を用意する

1



添付のマニュアル『かるがるパソコン入門』を用意します。

2



CD-ROM『かるがるパソコン入門』を取り出します。

最後のページに付いています。

CD-ROMをパソコン本体に入れる

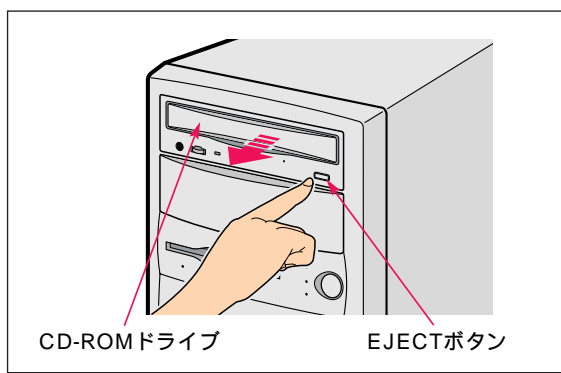
注意

けが



CD-ROMなどをセットするときは、CD-ROMドライブのトレイに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

1



パソコン本体前面のEJECTボタンを押します。

ボタンを押すと、トレイが出てきます。

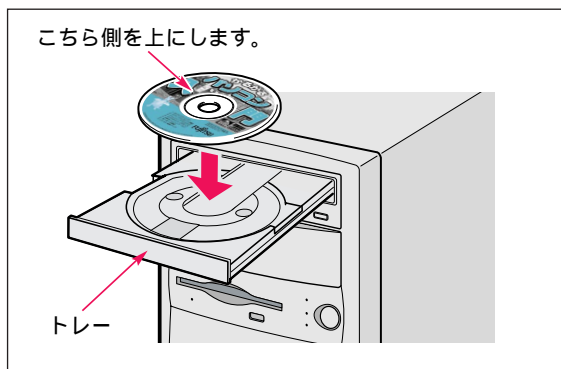
アドバイス

電源は入っていますか？

CD-ROMは、パソコンの電源が入っていないと使えません。下のような画面が表示されているか、確認してください。



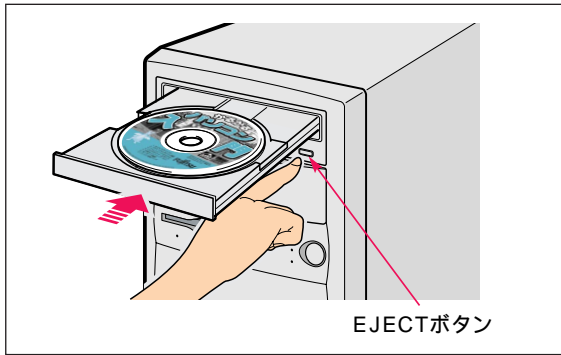
2



『かるがるパソコン入門』の文字が書いてある面を上にして、CD-ROMをトレイに置きます。

トレイにしっかり収まるように置いてください。

3



EJECTボタンを押して、トレイを戻します。

最初の画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。



重要

マウス操作を行わないでください

最初の画面が表示されるまで、マウス操作を行わないでください。

しばらくすると...

最初の画面が表示され、音楽が鳴り始めます。

これが『かるがるパソコン入門』の画面です



CD-ROMの使いかたはこのマニュアル



CD-ROMの
終わりがた



お使いの電話回線を知りましょう

電話回線には、一般のアナログ回線とISDN回線があります。

一般のアナログ回線

ダイヤル式電話機をお使いの場合



プッシュ式電話機をお使いの場合



ダイヤルすると...



「ブツブツ」と音がする



「ビッポッパ」と音がする

ダイヤル回線
「パルス回線」を選びます。

プッシュ回線
「トーン回線」を選びます。

ISDN回線

「ISDN回線」をお使いの場合は、「ISDN回線」または「トーン回線」を選びます。

どうしても電話回線の種類がわからない場合

NTTの「ご請求額の内訳」をご覧くださいか、直接NTTにお問い合わせください。

次のサービスをお使いのときはうまく通信できない場合があります

- ・ホームテレホン
- ・キャッチホン
- ・ビジネスホン

詳しくは、『使いこなす本 ハード編』の「その他の注意事項」をご覧ください。

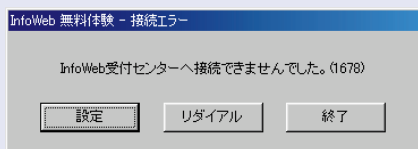
今までのアナログ回線をISDN回線に切り替えるには

最初に工事費、NTTとの契約料、機器購入費などの費用がかかります。

ISDN回線を使うためには、ISDN用のモデムである「TA(ターミナルアダプタ)」と回線接続装置である「DSU(ディーエスユー)」が必要です(DSU内蔵のTAも発売されています)。

ISDN回線について詳しくは、直接NTTにお問い合わせください。

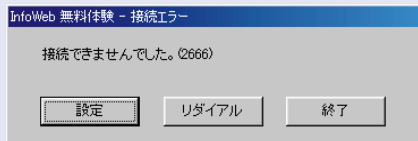
無料体験エラーメッセージ一覧



以下のような原因が考えられます。

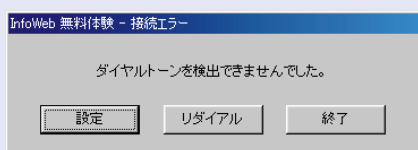
回線が混雑している

しばらくしてから、「リダイヤル」をクリックするか、「終了」をクリックします。「終了」をクリックした場合は、しばらくしてからもう一度Applicationボタンの「3」を押してやり直してください。



パソコンと電話回線が正しく接続されていない

「インターネットをしたい方は」(P.10)をご覧くださいになり、正しく接続されているか確認してください。



ダイヤルの設定が間違っている

「終了」をクリックします。『使いこなす本 インターネット編』の「自宅の電話番号が変わったときには」をご覧くださいになり、ダイヤルの設定を確認してください。

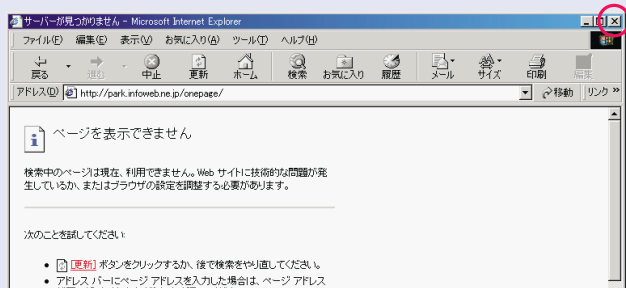
モデムが使える状態になっていない

「終了」をクリックし、『トラブル解決Q&A』の「うまく通信できない」をご覧ください。



インターネットに接続されていない

「OK」をクリックします。そのあと、もう一度Applicationボタンの「3」を押してやり直してください。

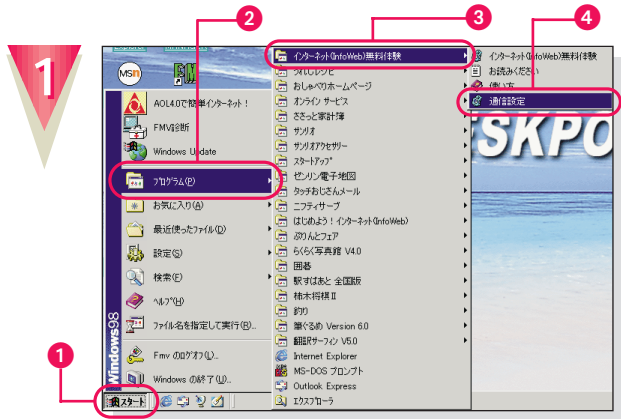


インターネットに接続されていない

画面右上の「X」をクリックして終了します。そのあと、もう一度Applicationボタンの「3」を押してやり直してください。

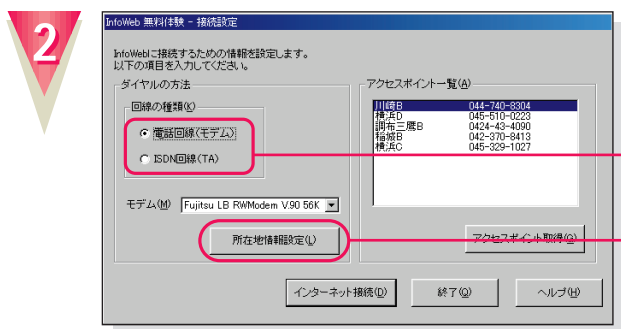
ここに載っていないエラーメッセージまたはトラブルが発生した場合は、InfoWebサービスセンターにお問い合わせください。お問い合わせ方法などについて詳しくは、『使いこなす本 インターネット編』をご覧ください。

無料体験のアクセスポイントを変更するには



(これ以降の画面は実際と異なる場合があります)

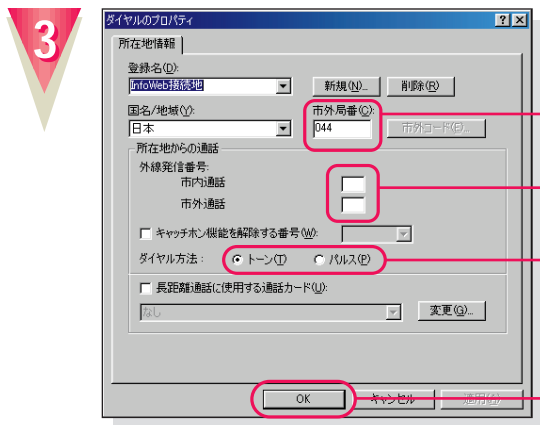
① 「スタート」 ボタンをクリックし、② 「プログラム」
③ 「インターネット (InfoWeb) 無料体験」の順にマ
ウスポインタを合わせ、④ 「通信設定」をクリックしま
す。



① お使いの電話回線を設定し、② 「所在地情報設定」を
クリックします。

① お使いの電話回線をクリック
して選択します。

② ここをクリックします。



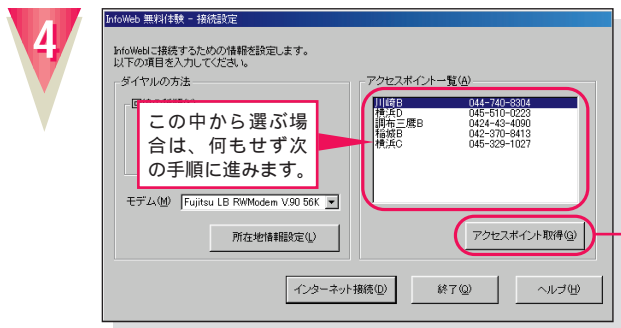
設定内容を確認し、「OK」をクリックします。

市外局番を設定します。

会社やホテルなど、外線発信
番号が必要ときに設定しま
す。

回線の種類を設定します。

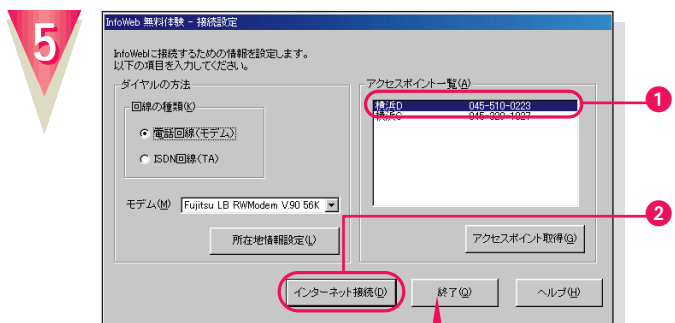
設定が終わったらクリックし
ます。



市外局番を変更した場合は、「アクセスポイント取得」
をクリックします。

InfoWeb受付センターに接続し、入力した市外局番に近い地域のアクセ
スポイントを表示します。

市外局番を変更したときは、
ここをクリックします。



① 最寄りの地域にあるアクセスポイントをクリックし、
② 「インターネット接続」をクリックします。

しばらくすると、インターネット (InfoWeb) に接続します。

今すぐインターネットに接続しない
場合は、「終了」をクリックします。


ユーザー登録をしましょう

ユーザー登録をしていただくことで、お知らせや製品情報などをお届けします。保証書の封筒に入っている「ユーザー登録のご案内」をご覧ください。ユーザー登録には、4種類の方法があります。

- ・パソコン通信(フリーダイヤル)で登録する「オンラインユーザー登録」
- ・インターネットのホームページで登録する「インターネットユーザー登録」
- ・添付のハガキで登録する「ハガキによるユーザー登録」
- ・専用シートをFAXで送信する「FAXユーザー登録」

特に、パソコンの近くに電話回線がある場合には「オンラインユーザー登録」をお勧めします。オンラインユーザー登録を使うと、パソコンと電話回線を利用して、簡単にユーザー登録が行なえます。フリーダイヤルを利用しますので、電話料金はかかりません。

また、ここで入力した氏名や住所などは、インターネットプロバイダ(InfoWeb)への加入契約やFMVソフトウェア登録などに引き継がれますので、同じ情報を何度も入力する必要がなくなります。

オンラインユーザー登録について詳しくは、『FMV総合案内』をご覧ください。

取扱説明書

B3FH-5361-01-00

発行日 1999年5月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
無断転載を禁じます。 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。 © 9905-1



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。



T4988618873048